

54—3・4次隊

# 協力隊派遣受入希望調査表

昭和54年4月

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333.9  
SE  
54-2

15103  
JICA地球ひろば  
'11. 7. 05  
ひろばライブラリー

54年3・4次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

職 種	要 請 数	国 名	調査表 の有無	ページ	職 種	要 請 数	国 名	調査表 の有無	ページ	
101 稲 作	1	フィリピン	○	1	120 農業土木	1	エチオピア			
	2	フィリピン	○	2		2	モロッコ	○	27	
	1	フィリピン	○	3		1	タンザニア	○	28	
	3	バングラデシュ	○	4		1	タンザニア			
	1	バングラデシュ	○	5		1	マラウイ			
	1	バングラデシュ	○	6		121 農業機械	1	マレーシア		
	1	バングラデシュ	○	7			1	バングラデシュ	○	29
	1	ホンジュラス					1	バングラデシュ	○	30
	1	パラグアイ	○	8			5	バングラデシュ	○	31
1	パラグアイ	○	9	1	バングラデシュ		○	32		
102 食用作物	1	パラグアイ	○	10	1	バングラデシュ	○	33		
	1	フィリピン	○	11	1	バングラデシュ	○	34		
10302 野 菜	1	フィリピン	○	12	1	シリア	○	35		
	6	マレーシア	○	13	1	タンザニア	○	36		
	1	マレーシア			1	ガーナ				
	1	バングラデシュ	○	14	1	コスタリカ				
	1	バングラデシュ	○	15	1	パラグアイ	○	37		
	1	ネパール	○	16	13001 作物病理	1	パラグアイ	○	38	
	1	シリア	○	17		131 家畜飼育	1	フィリピン	○	39
	2	ケニア			1		フィリピン	○	40	
	1	コスタリカ			1		フィリピン	○	41	
	1	パラグアイ	○	18	1		フィリピン	○	42	
	1	西サモア	○	19	1		フィリピン	○	43	
	10303 果 樹	1	フィリピン	○	20		3	シリア	○	44
		1	バングラデシュ	○	21		132 養 鶏	1	フィリピン	○
2		ネパール	○	22	1	バングラデシュ		○	46	
2		ケニア			135 獣 医 師	1	シリア	○	47	
1		コスタリカ				3	シリア	○	48	
1	コスタリカ			1		ザンビア				
104 工芸作物	1	コスタリカ			150 食品加工	1	ネパール	○	49	
	2	タンザニア	○	23		160 森林経営	1	マレーシア	○	50
102 農業土木	1	フィリピン	○	24	3		ネパール			
	1	マレーシア	○	25	1		ホンジュラス			
	1	マレーシア			170 漁具漁法		1	ホンジュラス		
	1	ネパール	○	26						

職 種	要 請 数	国 名	調査表 の有無	ページ	職 種	要 請 数	国 名	調査表 の有無	ページ
171 養 殖	1	ネ パ ー ル	○	51	340 船 舶 機 関	2	タ ン ザ ニ ア	○	78
19001 農 林 統 計	1	ネ パ ー ル	○	52		1	マ ラ ウ ィ	○	79
201 陶 磁 器	1	ホ ン ジ ュ ラ ス			350 自 動 車 整 備	1	フ ィ リ ピ ン	○	80
210 竹 工 芸	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	○	53		1	マ レ イ シ ア		
	1	ホ ン ジ ュ ラ ス				1	バ ン グ ラ デ シ ュ	○	81
220 板 金	1	フ ィ リ ピ ン	○	54		1	エ チ オ ピ ア		
	1	マ レ イ シ ア				2	ケ ニ ア	○	82
	1	モ ロ ッ コ	○	55		2	ケ ニ ア		
	1	リ ベ リ ア				1	タ ン ザ ニ ア	○	83
	1	西 サ モ ア	○	56		2	マ ラ ウ ィ	○	84
223 溶 接	1	バ ン グ ラ デ シ ュ				1	西 サ モ ア	○	85
224 塗 装	1	リ ベ リ ア				1	西 サ モ ア	○	86
311 工 作 機 械	1	フ ィ リ ピ ン	○	57	351 航 空 機 整 備	2	マ ラ ウ ィ		
	1	マ レ イ シ ア	○	58	381 無 線 通 信 機	3	ザ ン ビ ア	○	87
31105 機 械 製 図	1	バ ン グ ラ デ シ ュ				2	ザ ン ビ ア	○	88
312 冷 凍 機 器	2	マ レ イ シ ア	○	59	401 土 木 設 計	1	バ ン グ ラ デ シ ュ		
	1	マ ラ ウ ィ	○	60		1	モ ロ ッ コ	○	89
	1	マ ラ ウ ィ	○	61		1	マ ラ ウ ィ	○	90
	1	ト ン ガ	○	62		1	ガ ー ナ		
	1	ホ ン ジ ュ ラ ス			40106 土 質 検 査	1	マ ラ ウ ィ	○	91
320 電 気 工 事	1	マ レ イ シ ア	○	63	402 土 木 施 工	1	リ ベ リ ア		
	3	ケ ニ ア			403 測 量	1	ネ パ ー ル	○	92
321 電 気 機 器	1	マ レ イ シ ア	○	64		1	ネ パ ー ル	○	93
	1	モ ロ ッ コ	○	65		1	モ ロ ッ コ	○	94
	1	マ ラ ウ ィ	○	66		1	モ ロ ッ コ		
322 テレビ修理	1	フ ィ リ ピ ン	○	67		7	ケ ニ ア		
	1	マ レ イ シ ア	○	68		1	マ ラ ウ ィ	○	95
	1	マ レ イ シ ア	○	69		1	マ ラ ウ ィ	○	96
	1	マ レ イ シ ア				2	マ ラ ウ ィ	○	97
	1	モ ロ ッ コ	○	70	404 都 市 計 画	1	ネ パ ー ル	○	98
	1	ザ ン ビ ア	○	71		2	モ ロ ッ コ	○	99
	1	タ ン ザ ニ ア	○	72	410 建 築	1	ネ パ ー ル	○	100
330 建 設 機 械	2	ケ ニ ア	○	73		1	モ ロ ッ コ	○	101
	2	マ ラ ウ ィ	○	74		3	ケ ニ ア		
	1	マ ラ ウ ィ	○	75		2	ケ ニ ア		
	2	西 サ モ ア	○	76		1	マ ラ ウ ィ	○	102
340 船 舶 機 関	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	○	77		1	西 サ モ ア	○	103
	1	ケ ニ ア			41006 建 築 大 工	1	リ ベ リ ア		

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
420 造 園	2	モ ロ ッ コ	○	104	681 理数科教師	10	ケ ニ ア	○	128
	1	モ ロ ッ コ	○	105		6	マ ラ ウ イ	○	129
	13	タ ン ザ ニ ア	○	106	682 幼稚園教諭	2	マ レ イ シ ア		
430 配 管	1	エ チ オ ビ ア			701 体 育	1	ホ ン ジ ュ ラ ス	○	130
	1	エ チ オ ビ ア			710 陸上競技	1	ネ パ ー ル		
	1	エ チ オ ビ ア				1	シ リ ア	○	131
	2	マ ラ ウ イ	○	107	720 体操競技	1	ネ パ ー ル		
	1	マ ラ ウ イ	○	108		1	チ ュ ニ ジ ア	○	132
501 医 師	2	チ ュ ニ ジ ア	○	109	730 水 泳	1	フ ィ リ ピ ン	○	133
510 看 護 婦	1	マ ラ ウ イ				1	チ ュ ニ ジ ア	○	134
	1	ネ パ ー ル	○	110		1	ホ ン ジ ュ ラ ス		
	2	ボ リ ビ ア	○	111		1	ホ ン ジ ュ ラ ス	○	135
511 助 産 婦	1	ネ パ ー ル			751 バレーボール	1	フ ィ リ ピ ン	○	136
512 保 健 婦	1	マ ラ ウ イ				2	チ ュ ニ ジ ア	○	137
522 診療放射線技師	2	マ ラ ウ イ				1	ザ ン ビ ア	○	138
523 作業療法士	1	マ レ イ シ ア	○	112		1	ボ リ ビ ア		
	2	マ ラ ウ イ			752 バスケットボール	1	チ ュ ニ ジ ア		
524 理学療法士	1	マ レ イ シ ア	○	113		1	ホ ン ジ ュ ラ ス		
540 栄 養 士	1	マ ラ ウ イ			754 野 球	1	ホ ン ジ ュ ラ ス		
610 司 書	1	ネ パ ー ル	○	114	770 柔 道	1	フ ィ リ ピ ン	○	139
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	○	115		1	ネ パ ー ル	○	140
611 秘 書	1	モ ロ ッ コ				1	チ ュ ニ ジ ア	○	141
	1	タ ン ザ ニ ア	○	116		1	モ ロ ッ コ	○	142
640 家 政	1	マ レ イ シ ア				2	ザ ン ビ ア	○	143
	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	○	117		1	ボ リ ビ ア		
	1	パ ラ グ アイ	○	118		1	ホ ン ジ ュ ラ ス		
64001 手 芸	2	マ レ イ シ ア	○	119					
	1	ホ ン ジ ュ ラ ス							
64004 人形製作	1	ネ パ ー ル	○	120					
64005 編 物	1	マ レ イ シ ア	○	121					
	1	ネ パ ー ル	○	122					
641 婦人子供服	1	マ ラ ウ イ	○	123					
650 音 楽	1	バ ン グ ラ デ シ ュ	○	124					
	1	ホ ン ジ ュ ラ ス	○	125					
	1	ホ ン ジ ュ ラ ス	○	126					
	7	ボ リ ビ ア							
660 美 術	1	ホ ン ジ ュ ラ ス							
681 理数科教師	1	フ ィ リ ピ ン	○	127					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年10月6日

101 稲 作

調査者氏名 神谷弘司  
鈴木進一

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作 - A, B	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Government and Community Development  
(日本語): 自治開発省 (MLGCD)

ロ. 隊員勤務先名称: MIAOD, Provincial Development office 日本語名称: 自治開発省オサダ州事務所  
所在地: TABUK, KALINGA-APAYAO 主要都市からの距離: オサダより70キロ

ハ. 事業規模及び内容: MLGCDを以て地域社会の開発業務を担当し、中央政府と地方自治体の調整を行い、地域社会の開発計画を作成する。技術者としては、必ずしも中央、地方政府の技術者がこれに關与する。

ニ. 設備概要: 州農場には任務遂行に必要な設備は十分に備わっている。

(2) 隊員の業務内容: 隊員の任務は普及活動と JOCV-MLGCD-Provincial Government

共同出資で実施されるオサダ州農場(農業実験場)の管理運営である。農場における具体的には当地の優良品種の採種、改良、試験栽培調査である。

① 隊員の業務上の地位: 稲作普及指導員

② 技術の範囲: 稲作全般に亘る。特に州農場においては採種、当地に適した稲作試験の研究等。

③ 業務の形態: 一般農家を対象とした普及活動及び州農場における技術者(BAEx...農業普及員, BPI...植物産業員)に対する技術指導。

④ 対象者Bからのレポート等: 普及活動の対象一般農民は他州のそれと比較して一般的に低い。農場稲作部門ではBAExのレポートがレポートとなる。稲作技術に関してかなりの知識があるが実践的には難がある。

⑤ 現地で利用可能な機械: 大型トラクター、耕耘機、スプレーヤー、脱穀機、水揚ポンプ、エバシ、稲刈りカッター、水分測定器等。

⑥ 母国の人等: なし。

⑦ 使用言語: 英語、ヒカノ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鈴木進一隊員(52/前、稲作)の交替申請。オサダ州農業実験場の設立と共に当州の稲作振興が期待されている。その他当州の農民の期待も大きいのでオサダ州に2名おける仕事となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

家が農家で小さい時期稲作を見過ごした人自らでは農業高校卒で十分であるが、3年以上の経験が必須である。(最低2年位)

可能であれば農業改良普及員の資格を有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年10月8日

101 稲 作

調査者氏名 神谷弘司

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Rice Culture	(男) 4 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作-A	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限53年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Agricultural Credit Administration (ACA)  
(日本語): 農業信用機関

ロ. 隊員勤務先名称: Dagat-Kidavao Compact farm Cluster (日本語名称: ダガットキダバオコンパクトファームクラスター)  
所在地: Dagat-Kidavao, Valencia, Bukidnon (主要都市からの距離: ダバオより45キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 現在は cluster には 4 の Compact farm が組織されており、今後の 4 の Compact farm を中心に統合して、一つの大きな Compact farm cluster に組織していくことである。現在の組織内容については別添紙を添付しているが、一農家は 2.4 Ha である。ACA の V の実行額は平均 2850 ペソである。

ニ. 設備概要: 健全な Compact farm である。

(2) 隊員の業務内容: 1 の Compact farm (C.F.) を約 10 ha のゾーンに分け、各ゾーンにゾーンリーダーを置き、農作業はゾーン内で共同で行われている。5~6 のゾーンで 1 の C.F. が形成され、その上には合計 6 の C.F. マネージャーがいる。約 4 の C.F. をまとめたゾーンリーダーがいて、その下に農業信用機関、農産局、農協等の機関が連絡をとり、組織的に活動している。しかし、向きの農業技術については基礎的なことは十分である。

- ① 隊員の業務上の地位: 農業技術員
- ② ③ 技術の範囲、業務の形態: 稲作の基礎技術指導、用水灌漑整備、排水溝の整備、稲作のみなぎり、農業一般の技術 (対象: ソロコノ類以外) 等
- ④ 対象者のカテゴリー: C.F. 内農家が対象者でカテゴリーは幅広い。
- ⑤ 現地利用できる機械: 特になし。
- ⑥ 必要の人: なし。
- ⑦ 使用する言語: 英語、(ロカ) 語。

\*. この地域では NIA が中心となり "5 days Training on Intensive Agriculture for Irrigation System" というセミナーを実施しており、C.F. の Zone Leader が参加している。また、この地域には Philippines Packing Corporation での農民の協賛会が実施予定である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: C.F. に関しては ACA の 2 人、National Irrigation Administration からの技術者が指導しているが、専門的なことは、町から来た人、いわゆる技術者が行っている。現在、当地での収穫は 60~70 cavs/ha あり、この増収を期待している。適切な指導があれば 100~150 cavs/ha の収穫も行うことが可能であると期待している。

(新増要項)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
農業高校卒以上で実務経験 3~4 年以上。  
大学卒業以上であれば実務経験 2 年以上。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 3 月 26 日

101 稲 作

調査者氏名 高橋 勝茂

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物(野菜, 稲)-A	(女) 人	派遣予定 昭和 55年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Office of the Mayor, Gandara Municipality  
(日本語): ガンダラ町役場 町長室付

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上 Calbayog市)  
所在地: Gandara, Samar 州 主要都市からの距離 (Calbayog市 約 30キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ガンダラ町 (面積 674km<sup>2</sup>, 人口 3.3万人) の経済は農産物 (稲, トウモロコシ, ココナツ) で成り立っており, 他に見るべき産業はない。町役場の年間予算 27万ペソ (77年)。同役場には MLGCD (地域開発局) 及び BAEX

ニ. 設備概要: (農業普及局) の出先機関が併設されており, 町内には BPI (植物産業界) の種子生産農場 (85ha, 稲, トウモロコシ, ペナン) 及び BAI (畜産局) の家畜

(2) 隊員の業務内容:

人口授精センターがある。

同町にはガンダラ川の支流が町の中央部を南北に流れ, また日比友好道路 (25km) が町を縦断しており, 州都のカバロガンまで 38km, 空港のあるカバヨグ市まで 30km と農業振興の立地条件としては良好であるが, 現在 稲作及びトウモロコシ栽培しか行なわれておらず, 町側としては野菜栽培の導入及び普及に力を入れている。隊員は上記 (今後) 稲作トウモロコシ栽培 増産のための技術指導を行うと共に, 特に乾期には野菜栽培のデモンストラーション等を農民と共同に行い農業技術の向上を計る

隊員の業務上の地位: テクニカルアドバイザーであり実践者  
技術の範囲: 野菜, 稲, トウモロコシの一般的な栽培技術及び知識並びに農業普及活動の手段

業務の形態: 農業普及活動の計画立案者であり実践者 (農業普及員)  
対象者及びカウンターパートの技術水準: 協力者としては BAEX 及び BPI の職員が居るが, 対象者は一般農民であり野菜栽培についてはほとんど見ることがない。

現地で利用出来る機材: 水牛犁等現地農具, カリ国人及び日米農家協会なし  
使用する言語: 英語 (ビサヤ語のワイワイ)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

新期要請

上記 (2) のとおり農業立地条件は良好であるが, 一般農民の技術及び知識の不足から稲作等の生産性は低く, 特に野菜栽培はほとんど行なわれていない。州都カバロガン及びカバヨグ市はセブの野菜を輸入しているのが現状で, 町側としては農民の技術及び知識の向上を計る上で, 将来はこれらの市場に野菜等を組織的に出荷することを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業大専科専短大卒以上, 特に実務経験 (農業一般) の豊富な人が望ましい。  
単車の運転免許



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年5月3日

101 種 作

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Rice Culture	(男) 5人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Krishi Bank (BKB), Ministry of Finance  
(日本語): 大蔵省 バングラデシュ農業銀行

ロ. 隊員勤務先名称: BKB Regional Office 日本語名称 (バングラデシュ農業銀行地方事務所)  
所在地: 首都ダッカから約100km離れた地方都市 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BKBは独立後、以前の農業開発財政公団と農業銀行が合併して設立された国立銀行。現在の地方事務所は176の支店を持ち、職員約4,000人と擁する。政府と資金に基づき、果樹、長ばい、送水、養蚕、肥料の計画等、農民に対し短期(1年)、中期(1~5年)、長期(5年以上)のローソの貸付を行っている。

ニ. 設備概要: 配属先には稲作専用のトラクタの設備は無いが、数少ない農民の中には耕耘機、トラクタ、水田用ポンプ等の農業機械を所有している者もいる。

(2) 隊員の業務内容: 日本および日本政府援助で輸入された上述農業機械を導入して、この地域の農民に対し、稲作を中心とした農業全般に関する巡回指導を行う。

- 1) 業務上の地位: 地方事務所の長下にある Chief Manager の下で活動するサポート
- 2) 技術の範囲: 当地農業の中心は稲作であり、稲作を中心とした農業機械も含めた農業に関する技術全般の巡回指導と技術。
- 3) 業務の形態: 農民の生活向上のための巡回指導。
- 4) 対象者及びカウチング: 直接の対象者は全くと教育を受けた7~8歳の農民で、Agronomist あるいは地方事務所では Agronomist がカウチングの役割を担う。
- 5) 現地で利用可能な材料: 日本と同等と比べると全く無い等しい。
- 6) 取組みの予行予行の準備: 地方事務所にはない。
- 7) 使用する言語: ベンガル語。但し英語も頻りに使用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 環境の厳しい条件下でも生産性成果を上げることが過去の隊員の活動から正しく認識され、JOCVはやり遂げるだろうという強い期待が持たれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の意をふまけて社会通念により短大卒業程度の学歴と卒業後(1年以上)の実務経験。  
実務経験は長ければ長い程又農業機械の知識・技術があれば、好ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月27日

101 稲 作

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management), Ministry  
(日本語): of Agriculture & Forests 農林省農業普及管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Gairandha Agriculture Extension Training Institute 日本語名称 (ガハラの農業普及育成所)  
所在地: Institute Gairandha, Rangpur 主要都市からの距離 (700より300キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する2年制の政府機関。現在は1年生男135名女13名、2年生男64名の生徒がいる。敷地総面積は98エーカーのうち耕地面積50エーカーを定規で利用している。

ニ. 設備概要: 事務所、教室、生徒用寮舎、職員住宅等全て現在改装中。農場用として77畧耕機、深中水田各1台、地中水灌漑機、牛18頭、鶏、養殖池がある。

(2) 隊員の業務内容: 卒業後は農業改良普及員となる生徒に對し、農学I、農学II、作物保護、園芸、農業機械、農業普及の6教科の授業を行っているが、その中で隊員は中央配属先が作成した指導要領に従って、校長の指揮下、現地教官と協力して農学IIの講義・実習を担当する。併せて周辺の農家への普及活動も行う。

イ. 隊員の業務上の地位: 教官  
ロ. 技術の範囲: 稲作栽培全般について日本の農業高校で指導可能な程度の知識・技術及び栽培試験が可能なこと。さらに一般作物栽培についての知識・技術も必要。

ハ. 業務の形態: 当初は朝7時半から10時迄行なわれる実習の技術指導が主となり、授業が可能な場合は午後2時迄行なわれる農学IIの授業と現地教官と協力して行う。  
ニ. 対象者及びカテゴリー: 生徒は当日10学年卒が全人となり、入学時18~20歳で農業知識・経験とも全くない。カテゴリーは農科大学卒業生で25~30歳で、技術水準は高くはない。

ホ. 現地で利用する材料: 上記設備概要のとおり。  
ヘ. 職場に於ける子弟の人等: 協力隊園芸隊員(55年8月迄)。  
ト. 使用する言語: 生徒、農場労働者及び農民とは全てベンガル語。校長、教官は英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガハラのAETIには昭和48年10月以来隊員が継続して派遣されており、勤務先との相互理解も深まり、隊員が必要不可欠の存在に於いては隊員の継続的活動が期待されている。隊員の技術面での指導と併せて、生徒に對する指導方法の計画を案、現農民に對する普及活動の積極的影響も期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の適い及び社会面から見て短大以上の農学部を卒業し、卒業後1年以上の定職経験を有していることが必要で、農業に熱意を持ち、教師としても人格的に優れた人、教員免許(農業)、農業改良普及員の資格を有している場合は不問、単身単転免許記が必要。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月27日

101 稲 作

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management), Ministry  
(日本語): of Agriculture & Forests. 農林省農業普及管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Nature Agriculture Extension Training 日本語名称 (外-北農業普及員養成所)  
所在地: Institute, Nature, Rajshahi 主要都市からの距離 (7カより200キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する2年制の政府機関。現在は12年生舎をせ  
て151名の男子生徒がいる。スタッフ人員は校長1名、教官6名、事務職員9名その他合  
計約20名。農場面積は双エーカーで実習用に利用されている。

ニ. 設備概要: 事務所、教室、寄宿舎、職員住宅、倉庫等。他に農場用トラクター、耕耘機、  
脱穀機、揚水ポンプ、消毒用スプレー、石臼各種農具。

(2) 隊員の業務内容: 卒業後は農業改良普及員となる男子生徒に対して、農学I、農学II、作物  
保護、園芸、農業機械、農業普及の6教科の授業を行っているが、その中で隊員は、  
中央配属先が作成した指導要領に添って、校長の指揮下、現地教官と協力して、農  
学IIの講義、実習を担当する。併せて周辺農家への普及活動も行う。

イ. 隊員の業務上の地位: 教官

ロ. 技術の範囲: 稲作栽培全般について日本の農業高校で指導可能な程度の知識・技  
術および栽培試験の可能なこと。さらに一般作物栽培についての知識・技術論を

ハ. 業務の形態: 当初は週2回午前7時から午前9時迄行なわれる実習の技術指導、授  
業が可能なのは、週3回行なわれる農学IIの授業と現地教官と協力して行う。校長  
個人での栽培期間は午後3時から午後5時迄行なわれる実習指導も週1回担当する。  
併せて周辺農家への技術指導普及活動も行う。

ニ. 対象者及びカテゴリー: 生徒は当日10学年卒がほとんどで入学時18~20歳の男子のみ。農  
業知識・経験とも少ない。カテゴリーは農業化学科と課程と卒業し、郡の農業センター  
と2年務めた後昨年秋教官として赴任した人。

ホ. 現地下利用すべき材料: 上記設備概要の他にジーン

ヘ. 取場に於ける男子の人等: 協力隊園芸隊員(55年10月迄)、農業機械隊員(56年2月迄)

ト. 使用される言語: 生徒及び農民とは全てベンガル語。校長・教官とは英語も必要

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 外-北AETIには昭和48年10月以来隊員が継続して派  
遣されてきた。勤務先との相互理解も深まり、隊員が必要不可欠の存在として、  
隊員の継続的派遣が要請されている。隊員の技術面での指導と併せて生徒に対  
する指導方法の計画立案、また農民に対する普及活動の意識的影響も期待さ  
れている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の差及び社会通  
念により、短大以上の農学部を卒業し、卒業後1年以上の実務経験を持っていること  
は必要。農業に熱意を持ち、教師としても人格的に優れたい人。  
教員免許(農業)、農業改良普及員の資格を持っている人はよい。良い。  
単車運転免許証が必要

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和 52 年 11 月 18 日

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Volunteer Service (BVS)

(日本語): バングラディシュ ボランティア サービス

ロ. 隊員勤務先名称: Rampur Village Development Project 日本語名称 (ランプール農村開発計画)  
所在地: 17カリ梁バゴンゴン郡ランプール村 主要都市からの距離 (コミジより50キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BVSは1971年設立以来通算約2,000人の17国内ボランティアを農村開発に従事させ、本年度は200万9カ(約54万19)の予算で現在150人の17国内ボランティアを擁する。ランプール計画は月平均647カ(約10万19)の予算で実施されている。

ニ. 設備概要: ランプールには5~6人宿舎可能なスペースを有する事務所があるが、現在事務所・宿舎を建設することを計画中。

(2) 隊員の業務内容: 現在、ランプールには各地の大学から8人および地元から6人のスペシャリストではない休学中の学生が240家族に対して農村開発の一環として稲作栽培の普及に当たっているが、隊員はBVSメンバーを指導して、村内農民への普及活動を行う。

(1) 隊員の業務上の地位: BVSメンバーの相談相手

(2) 技術の範囲: 直接の相手となる農民はBVSメンバーの教育により文盲が減少してきたが、その半数以上は文盲であり、BVSメンバーもジェネラリストなので基本的な知識・技術で十分と判断する。しかし稲作は47年近く農業全般の幅の広い知識・技術が必要とされる。

(3) 業務の形態: 農村における普及活動

(4) 対象者・カテゴリー別の技術水準: カテゴリー別にはBVSメンバーのほか、休学中の大学生が主であり、そのBVSメンバーが指導している状況から技術水準は低い。

(5) 現地で利用可能な材料: 農民が所有する畜力利用の伝統的な農具のみ。

(6) 転場に出る予定者等: 来年から17国内ボランティア(主にアジアの開発途上国から)がBVSに20人派遣される計画があるので、何人かはランプールに配置される可能性がある。

(7) 使用する言語: ベンガル語(但し英語も特に必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: BVSはその活動が国際的にも評価されている17国内ボランティアの組織だから、当17国内活動中のJOCVと異なり技術上のアドバイスを得たい。又同じアジアにある日本からのボランティアと異なり農村開発をせめたいという期待がある。特筆すべき点は、高度の技術よりも日本では想像不能な厳しい条件下の当17国内農村で働くボランティアになり得る人間性と若さを強く重視している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記のとおり技術の面では過去の例のような特に厳しい資格・条件はないが、貧乏、農民の心情を理解でき、厳しい生活環境に耐えられる(心身ともに健全)な青年であること。

短大生以上で実務経験1年以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53年 2月 8日  
 調査者氏名 望月 久 (青)

101 稲 作

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY (パラグアイ)	(現地公用語) Cultivo del Arroz	(男) 1人	訓練開始 53年 6月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 53年 10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia  
 (日本語): 農 牧 省
- ロ. 隊員勤務先名称: Servicio de Extensión Agrícola Ganadera (日本語名称 (農牧普及公団) )  
 所在地: San Lorenzo (サン・ロレンソ) 主要都市からの距離 (アスンソンより 11 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

パラグアイ国農牧畜業の実務面での総元締め的役割を果たしており、各地区監督署並びに地方在住農夫員と統轄しつつ、農業、牧畜、林業等各分野の計画立案、効果測定、及び技術相談指導を行っている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位 : 官農普及員
- ② 技術の範囲 : 稲作技術全般に関する知識及実技指導
- ③ 業務の形態 : 小規模農家に対する普及指導
- ④ 現地で利用可能な機械 : 殆んどなく、普及活動に必要な車輛類の提供も期待できない。
- ⑤ 使用する言語 : スペイン語 (地方巡回の場合は、グアラニ語も要求される。)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

パラグアイ国に於ける稲作は、棉、とうもろこし、タバコ、小麦、大豆等周囲の主要輸出品に比べ、比重は極めて低く、年産3万トン前後の収穫量であり、殆んどが国内で消費されているのが実情である。しかも農家の技術レベルが低く、所得も少ない。この様な農家に対し、官農普及指導を通じて、技術のレベルアップを図ると共に、農民の生活向上を目的としている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒 ② 経験を有すること。 その他は特にない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

102 食用作物

記入昭和53年10月10日

神谷弘司

調査者氏名

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Food Crops	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 食用作物(採種) - B.C	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 53年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial State College  
(日本語): ド・マリヤノマルコス記念州立大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)  
所在地: Bacutan, La Union 主要都市からの距離 約25キロ

ハ. 事業規模及び内容: ラウニオン州を中心に農業技術者、農業学校の先生(育成)の学校で、高校部、大学部、短大部に分れる。生徒総数約3500名、教師(247名含めて)約120名である。農業科、農業教育科、畜産飼育科、森林科、農業土木科等がある(農業関係のみ)

ニ. 設備概要: 十分には設備が農業分野に偏りすぎている程度とされている。他の学部は不明である。今年度予算 600万ペソ

(2) 隊員の業務内容:

State College において農業関係が主で、隊員は当該人高校部で1年間1年 - B.C. 生徒と一緒に種子生産に実務する。

- ① 隊員の業務上の地位: テクニカルアドバイザー
  - ② 技術の範囲: 野菜、稲、ユース、豆類の採種、種子生産、育種研究を行なう。
  - ③ 業務の形態: 当該はラウニオン州(外々多少含む)の各種種子の供給源として、DAE (農業局)、DPI (植物産物) などのほか州内の人種子増産に力をつけている。学校の圃場 (Seed production) 用は2ha ほどは学校が所有している。これに2人1年 - B.C. 育種専攻の生徒と一緒に採種、育種研究を行なう。
  - ④ 対象者等: 校長 - ポートは1年1年 - Mr. Sita Apolonio (MSAC ABSAE 卒業し1973年本校に経典) 非常に礼儀正しく、隊員への活動は意味を込めて行なっている。また、彼等はJOCV隊員を良く受け入れてくれた。
  - ⑤ 現地に利用すべき機材: 一般農業器具、水田器具等。
  - ⑥ 職場に下げる中の人: 2人。
  - ⑦ 使用の手話: 英語。
- なお、当該以外のJOCV予算は(1978年) 約5000ペソ用意されている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ラウニオン州知事室にて関係者との間で、専攻大輔隊員(20% 前後) が本業に携わることから当該に種子採種に力をつけていく実情が評価され、今回の申請に際して、今回は稲、野菜、一般作物等広く試験、研究するのを望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒(農業系)以上の人を希望する。特に育種、採種の方に精通していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年12月26日

102 食用作物

調査者氏名 鮎川 望

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ハイチ	(現地公用語) Analista de Semilla	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 種子分析	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
1. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia			
(日本語): 農牧省			
2. 隊員勤務先名称: Servicio Nacional de Semilla (日本語名称 (国立種子サービス))			
所在地: San Lorenzo (主要都市からの距離約11キロ)			
3. 事業規模及び内容: 国立種子サービスセンターはサンローレンソに本部を持ち、本部は検査分析実験室を持っている。サンローレンソに種子貯蔵所を持ち検査した種子を一般農民に配布している。本部の実験室において大豆、小麦等、主要作物の種子を			
4. 設備概要: 定められた項目において検査分析している。 設備は、1. 発芽検査機 2種			
(2) 隊員の業務内容:			
1. 計量器 1			
1. 種子攪拌機 1			
1. 湿度計 1			
1. 精密計量器 1			
1. 穀利機 1			
の7種の機器を持ちて行っている。 (国仕様 (別添))			
業務: 本部において種子分析を行おうと共にサンローレンソの検査も行おう。 上記機器の内 発芽検査器の使用方法が理解されており、 2台の内1台しかつかってはいない。使用方法のわからない機械は 以下のとおりである。 Camara de Germinacion Programable Marca: Burrows (Cleland International Inc.) Modelo: 1848 U.S.A 上記機械を操作すること。その使用方法を指導する。			
地位	検査員		
言語	スペイン語		
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
上記のように、機器の操作が十分に行わなければならないので、それを十分に使用し より精密な分析検査を行おうことについて期待されている。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
種子検査に必要の知識を修得した専門学校卒、又は大学卒 経験ある人が望ましい、2年			



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53年 10月 5日

10302 野 菜

調査者氏名 高橋勝茂

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1人	訓練開始 54年 4月
	(日本語) 園芸作物(野菜)-B,A	(女) 人	派遣予定 54年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mambusao Agricultural and Technical College  
(日本語): マンブサオ 農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)  
所在地: Mambusao, Capiz 主要都市からの距離 (Cebuより50キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 4年制の農業科, 農業教育科, 家庭科及び修士コース(2年制)を有する農科大学でほかに2年制の農業技術者コースと農林業コース, また4年制の高校が附属している。学生数 1,600人, 教員数 71人, 本年度予算 2百万ペソ(約64万円)

ニ. 設備概要: 農地含む大学の敷地 120ha, その内園芸用圃場 9ha, その他大学の所有地 約3000ha(山林, 未開拓), 大型トラクター1台(50馬力), ハブドトラクター2台, 気象観測用施設

(2) 隊員の業務内容: シェッドハウス(育苗用)等基本的施設はあるが実験研究室はなし。

現在園芸用圃場は学生の実習用として使用されており一般的野菜が栽培されている他ローカル野菜(ササゲ, 緑豆, 大豆等)の種子生産も若干行なわれている。同大学は将来採種部門を拡充し, カピス州全域に主要野菜の種子を販売する計画を持っており, 隊員の主要業務は園芸部門の教官をカウンターパートとして学生に野菜栽培の実験実習指導を行うと共に採種部門の拡充計画の策定及びその運営管理を行うこととなる。

- ① 隊員の業務上の地位: 園芸部門のテクニカルアドバイザー
- ② 技術の範囲: 野菜栽培の一般的知識及び技術, 並に採種の基本的知識(ローカル品種の採種が中心となるので交配の技術は必要なし)
- ③ 業務の形態: 上述のとおり
- ④ カウンターパートの技術水準: カウンターパートとなる教官は男 30才, 大卒, 経験7年
- ⑤ 現地で利用できる機材: 上記(1)ニ, に記載したトラクターはあるが農場全体で使用するので水牛犁等現地農具を活用する必要はある。
- ⑥ オブ国人専任者: 米國平和部隊女性隊員1名がインストラクターとして生物学等基礎学科を履修している。
- ⑦ 使用する言語: 一般的にはイロイロ語 学校では英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: [新期要請]

大学側としては将来国立の総合大学を目指して, 現在それに伴う施設の拡充を行なっているが, 各部門の現場運営にあたる人材が不足しており協力隊にその補填役を求められて来たものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 学歴: (大学卒) (農学部 農学科) 作物及び野菜を専攻した人が望ましい。
- ② 取得資格: 特になし (英語の基礎学力がある人)
- ③ 実務経験: 大卒後少なくとも野菜栽培一般の実務を一年以上経験した人, また作物栽培(稲作)も経験していることが望ましい。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月31日

10302 野 菜

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Horticulture (日本語) 園芸作物(野菜類)の栽培	(男) 1人 (女) 人 どちらでも可 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Western Luzon Agricultural College (WLAC)  
(日本語): 西部ルソン州立農業大学

2. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称: ( )  
所在地: San Marcelino, Zambales 主要都市からの距離 233より154キロ

3. 事業規模及び内容: 268haの敷地を有し(そのうち20ha)高等部生徒数1038名、短大部117名、大学部237名、教員数50名、職員数30名から成る上州立農業大学の一つである。昨年度は当校の総予算は110万ペソである。  
4. 設備概要: ナトリウム、畜産用建物1棟、ビルド14、温室(建設中)等

(2) 隊員の業務内容

当校には Crop Science 及び Horticulture から Agronomy まで非常に範囲が広い。中でも野菜栽培、果樹栽培 (マニゴー、カシューナッツ)、稲作及び食用作物が中心である。雨期には上記の野菜栽培地帯及び食用作物地帯が全て稲作地帯に変わっていく。隊員は以内野菜系統、食用作物系統を担当するのかわりに専ら栽培に専らする。

- ① 隊員の業務上の地位: インストラクター兼アドバイザー
- ② 技術の範囲: 野菜栽培全般、圃場管理技術、種子生産、エーロソール食用作物の栽培技術
- ③ 業務の形態: カルソンの生徒を対象に上記内容の講義、実習を担当する。カレッジ・ポートと共に栽培実習研究も行う。食用作物(野菜類)の生産も行う。
- ④ 対象者及びカレッジ・ポートの技術的レベル、学歴及び年齢: カレッジの生徒。カレッジ・ポートは当校のインストラクター MR. LAZARO LUCAS 24才、農業大学 DSAE コース卒業、Agronomy and Horticulture の専攻当校での経験は1年。
- ⑤ 現地で利用して種子栽培: シンベリ、77、噴霧器、その他簡単な栽培具。
- ⑥ 外国語: なし。
- ⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

新規開墾。乾期の水不足、雨期の洪水加之で土地全体が Sandy であるため栽培は非常に困難な現状にあり、少くも乾期の水不足確保及び土地改良(部分的)を施し野菜の生産を必要とする。学校での消費供給のほか地域社会への野菜等の供給(種子も含む)が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

- ① 大卒者、2. 野菜栽培(種子生産を含む)の経験が2年以上あること。
  - 3. 英語力があること。
- 内容が広範囲に亘るため農家専らで1ヶ月時から栽培に親しんでいる人が望ましい。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 62 年 10 月 28 日

10302 野 菜

調査者氏名 八林明子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Vegetable Growing	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
野菜栽培 A			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Federal Land Development Authority  
 (日本語): 連邦土地開発公団

2. 隊員勤務先名称: 隊員赴任前に決定をしない 日本語名称 ( )  
 所在地: 入選地に入室予定は不明 主要都市からの距離 ( より キロ)

3. 事業規模及び内容: Fieldworkは約4000人のStaff 約32000人規模の働いている  
隊員は2人中100人入選地に配属される。100人入選地は約20人のStaff 100~400人規模  
入選者は10エーカーのジョットの村に10エーカーの田舎に与えられる

4. 設備概要: 入選者の家の周囲や空地を利用した野菜栽培

**(2) 隊員の業務内容:** ゴム園 オイルパーム園の労働(刈り込み等)の余暇に入選者家の  
庭や近くの空地に自家栽培をこころを指導又は作らざる人への指導普及及びStaffへの  
指導が任務

- 1. 地位 野菜栽培指導員 Green Book Plan 下に業務遂行
- 2. 範囲 従って中心は野菜であるが 稲作 果樹 畜産 花卉 養蚕 一般  
指導も含まれる 勿論には配属地の受入状況により異なる
- 3. 形態 入選者の家庭を訪問し 普及活動をする Fieldworkの指示により  
Staffへの指導も行う
- 4. 給与 9-10ヶ月 Fieldworkの本給与は4-10ヶ月の指示があるが 入選地により異なる  
対象となる入選者は野菜栽培のみに 含むトウモロコシ キウリ  
マメ類 キヤバ 程度で 比較的栽培しやすい人は少ない
- 5. 機材 種子 温度計 病害虫図録 図書 携行用ボックス  
その他全て(種子) 現地調達可能、作業衣 長靴等の身用品
- 6. 予備人員 ドイツ ボロネティア (他業種)
- 7. 言語 マレー語 (Staffは英語可)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マレーシア政府の政策の一つである Green Book Plan  
中で Fieldwork をかなり力を入れている 先行隊員の評価も JOCV の期待は大きい  
が 配属地は新しい入選地ばかりで 地域には JOCV に関する知識が  
薄く 所々ある 日本は JOCV 隊員を積極的に (あるいは人により) 活用する  
再三の連絡を配属先に出している

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
農業・園芸経験者 野菜の栽培経験 一般に通じているもの  
経験  
(※今年に派遣する人は今年卒業)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年 9月23日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Youth Programme	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 青少年活動	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Integrated Rural Development Programme (IRDP), Ministry of LGRD  
(日本語): Cooperatives 地方政府農村開発組合省, 総合農村開発公社
- ロ. 隊員勤務先名称: Youth Programme office 日本語名称 (青少年活動事務局)  
所在地: ランプル県ミラプル郡 主要都市からの距離 (約) 20キロ
- ハ. 事業規模及び内容: IRDPが1977年5月から当国内4ヶ所に設けられた青少年活動センターの1つで、ミラプル郡内の2ヶ村でメンバーが15~40人の青少年組織が野菜栽培、水灌漑、養鶏等の種別小規模な活動を開始したばかりである
- ニ. 設備概要: 事務局の机があるのみ

(2) 隊員の業務内容

- 人口密度世界一と云われる当国の農村で就業の村人が少ないため日夜一筋の若者の生活と余暇を(2ヶ村)の青少年を組織化し、訓練し収入源を見つけ出し、農村の若者の生活の基盤を築き上げるのが業務の中心となる
- イ. 業務上の地位: IRDP Thana (郡) Project officerの下で Youth Organizer と同格
- ロ. 技術の範囲: 青少年の組織化という性格上、村の青少年との話し合いの結果出てきた必要技術を伝えるのが肝心である。現状では農業が基本で中でも野菜栽培の普及が最も重要な技術となる
- ハ. 業務の形態: 土地をいじめると業務遂行上の基礎は全くないと思われ、状況下の村の青少年組織を巡回し、種々の問題を青少年とともに考え克服し、活動の発展を図る
- ニ. 対象者及びカテゴリー: 対象となる青少年組織メンバーは規定では13~26才だが実際は13~40才程度で村には若者の層も多いため、カテゴリーは Youth Organizer だが文化系出身のため技術は全くない
- ホ. 利用する材料: 伝統的当国製農具のみ
- ヘ. 村人口率の推移: 増し
- ト. 使用言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

農村開発の観点から野菜、稲作、養鶏、養殖等が主となるが、これに限らず、とにかく青少年組織の仕事を始めさせ、ミラプル郡に於ける青少年活動を活発にし、現在乏しい青少年の収入源を、更には発展させた生活の基盤とさせたい

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

短大卒以上の学歴、卒業後(1年以上)の実務経験が必要  
農村、青少年を愛し、説得力、実行力があり積極的に青少年をリードし農業技術の普及に努めることのできる人が望ましい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月24日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Horticulture	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation, Ministry of Agriculture & Forests (日本語): 農林省 農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Rajshahi Agricultural Development Estate (日本語名称: (ジャシハ) 農業開発農場) 所在地: Rajshahi 主要都市からの距離 (9.6より220キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 野菜種子・種苗生産、場内の展示圃場を通じての融資と含んだ農民への普及活動を中心とした農業技術向上を図る目的を掲げ、場長の下で農協、農村、普及を担当する副場長3人、普及員10人が3万エーカーの計画地域内約2,800戸の農家に傘下を構えている

ニ. 設備概要: 農場面積10エーカー(栽培面積6エーカー)に深井戸ポンプ1台、トラクター2台、鶏舎等地に事務所、バス、トイレ、職員住宅等と有す

(2) 隊員の業務内容: 農場内に於ける野菜生産に対する栽培技術と知識の指導を中心とし、計画地域内農民に対する普及活動を行う。他に土壌調査、採種も行う

イ. 隊員の業務上の地位: 農場内の技術伝授を中心とした普及部門を担当する副場長程度

ロ. 技術の範囲: 採種を含む野菜、一般作物、熱帯果樹の栽培技術と知識、土壌に関する知識を重視する

ハ. 業務の形態: 農場内の技術を担当し、周辺農家に普及活動を行う

ニ. 対象者及びカウチャーパート: 農場内では農場管理人、普及活動では農民を主な対象とするが普及員も含まれる。カウチャーパートは30-35歳の農業大学卒業の職員が実際面の技術水準は高く含む

ホ. 現地下利用する機械: 上記設備概要の他に耕耘機2台、噴霧器4台、手回し単車、農場トラクター等: 無し

ト. 使用言語: 農民にはベンガル語、事務所内では英語も必要

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業普及活動を行う上で理論・知識と実際に役立つ技術と備える人材が求められている

農場内では栽培技術と知識の他に土壌調査、採種、技術改善も期待されている

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の等価性を社会通念により認定以上の農学部を卒業し、卒業後(1年以上)の実務経験を持つことが必要で、農業改良普及員資格があれば望ましい

(単車運転免許)が必要

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 53年 7月 25日

調査者氏名 **寺田好男**  
**木内 忠**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) VEGETABLE PRODUCTION	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培(アジア講師)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Education, Tribhuvan University, Institute of

1. 配属先名称 (現地公用語): Agriculture and Animal Science.

(日本語): 教育省、トリバン大学農業畜産学部

ロ. 隊員勤務先名称: Central Campus. 日本語名称 (同農業畜産学部中央校舎)

所在地: Rampur, chitawan-Dist., Narayani-zon. 主要都市からの距離 バネプルより約7キロ

ハ. 事業規模及び内容: 同学部には (Pre-Professional Agri.) (Certificate in Agri.) (Diploma in Agri. Education) (Diploma in Agri.) の各コースがある。現在学生数は 388名、教員28名(含教授講師) 各課の管理部門の職員 126名(会計、タピスト等)、圃場管理作業員(Field Man) 約20名である。

ニ. 設備概要: 教室、講堂、学生宿舎、学生食堂、教職員官舎等があるが、いまだ充分なものではなく、年次計画に従って充実する予定であり、現在は学生宿舎、職員官舎を建設中である。

(2) 隊員の業務内容: 同大学構内の農場において Farm Manager 等と共に野菜部門の生産活動を行いながら学生の実習指導・訓練にも従事する。その他に各種野菜の各種栽培試験研究を行うこともある。

① 隊員の業務上の地位: 技術の程度により相対的立場も異なることが予想されるが、Assistant Lecturer (アジア講師) となる。(Gazetted III Class officer と同等である。)

② 技術の範囲: 野菜栽培の実技と理論に精通していることが望ましい。

③ 業務の形態: 農場において各種野菜(スルカ、カブラ、タガね大根、玉ねぎ等)栽培を行いながら学生の実習指導・訓練も行うことになる。他に各教員が担当する Research Programme につきも余裕があれば参加し、各種野菜の栽培試験研究を行うこともある。

④ 対象者及びカウンターパート: 農場長及び Field Man、学生もその範疇に入る。技術水準は低い。但し、教員(教授・講師)は外国留学の経験者も居るので、理論的には高度でも実技は普通以下と見る。

⑤ 現地で利用出来る機械: 小農具はだいたい揃っている。他は別紙参照。今後徐々に充実していく方針とのことであるが充分とは云えない。

⑥ 外国人の配置状況: MUCIA (Midwest Universities Consortium for International Activities) の Member として教授 1名(専門は教育学)、インド人 1名(専門は Crop Production) 近々帰国。他にアメリカ人 2名(夫婦) 夫は Farm Management 専ら英語講師。更に 779 農場に勤務している寺田好男隊員が 53.8-54.8 月間同業務を行うことになる。⑦ 使用言語は、ネパール語・専門用語は英語と必要とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本人は、アメリカ・カナダなどの大型農法ではなく、集約農法とその(新)技術をよく知っている。従って、その領域の技術をネパールに活用出来るだろうか。これを学生に指導してくれることを期待する。これは大変有意義なことである。(学長談)  
なお、同学部では現在指導者を養成中であるが、現場指導者は少ないことが要請の背景である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

4年制大学農学部卒業者で少なくとも野菜栽培につき2年の実務経験を要する。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 57年 12月 2日

調査者氏名 大久保純夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) Vegetable Plants Breeding	(男) 1人	訓練開始 52年 4月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 5年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform  
(日本語): 農業農村改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Scientific Agricultural Research  
所在地: Dama 主要都市からの距離 (92より 20キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

農業省直轄の農業研究所

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 研究員
- ② 技術の範囲: トマト、五ネギ、キャーリ等の発育試験
- ③ 業務の形態: 主任研究員と共に上記の研究を行う。現在、トマトの光、熱等による発育状況の試験を行っているが、トマト、五ネギ等に於いても同様の室内研究を行い、92より 30kmの農業試験場に出発し、発育試験の指示を行うことがあり、キャーリ-パートは1名
- ④ カリキュラムの技術水準、学歴、年齢: 不明 2名 1名配属
- ⑤ 利用する機械: 一応、光、熱の調節は研究科内に於いては不足していると思われる
- ⑥ 邦国人: なし
- ⑦ 言語: 英語、アラビア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国には特に北部に農業用地が多く、野菜の種類も豊富であり、重要な農産物であるため、増産を目的とすることが必要の研究は期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学 農業系学部卒 実務経験 特に試験研究に経年1年以上ありこの絶対条件。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53 年 12 月 26 日

調査者氏名 新川 達

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
1107771	(現地公用語) Cultivo de Vegetales	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人 (どちらでも可) / 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministerio de Agricultura y Ganaderia*  
 (日本語): 農牧省

ロ. 隊員勤務先名称 *Servicio de Extensión Agrícola* (日本語名称 (農牧普及所))  
 所在地: *San Lorenzo* (サロレンゾ) 主要都市からの距離 (キロ) より 11 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 農牧普及所は 77 の事業所を 1107771 国内に持っており 現所約 140 名の普及員が 農業指導, 生活改良指導, 農民組織指導を行っている。  
 基本的には各事業所に 3 部 11 人を担当する普及員が各 1 人につき 3 名というものが基本

ニ. 設備概要: とはるかに, 現状においては 1 事業所 2 名程を任せており十分はいいか。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ・ 野菜栽培普及員として働く。

対象としては一般の野菜栽培農家 及び 4H グループに参加している人達に 野菜栽培を指導普及する。 1107771 人 アスレチック運動の野菜栽培は キャベツ, ナイ, アレヒル (セリオヒル), レタス一種, トマト, 人参, スパイン等である。

使用する言語 スパイン語 カウニ語

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

過去において 1107771 人は 野菜を食料の中心としたが, 最近果菜園から 野菜を食料の指導を行っており, 生活改良の面と結びつけ野菜栽培を奨励している。又, 現金収入に結びつく非常に期待大である

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

大学卒業生; 又は専門学校卒業生, ○野菜栽培と現実に行なった経験のある人, 理論からしては農民のついでである。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 56年 10月 / 日

調査者氏名 小野 隆一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Vegetable Promotion (Extension)	(男) 1人	訓練開始 54年 4月
	(日本語) 野菜栽培(普及)	(女) 人	派遣予定 54年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture & Forests  
(日本語): 農林省

2. 隊員勤務先名称: Extension Vegetable 日本語名称 (野菜普及所)  
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 中敷カサアサハ、ウソルの両島の Extension を巡回し野菜栽培の普及と指導を行い、併せて各地の教会菜園や、ウマンスツツリ等の野菜の栽培技術を指導し普及を図る。

4. 設備概要: 畑2000m<sup>2</sup>、中央試験会場に於いて海外からの品種を試し、甲試して各地に普及させる。トラクタ、散水装置等中央にあり。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: オフicerの下に仕事するが、オフicerに準じている。
2. 技術の範囲: 野菜の生産普及、及び調査研究を普及所に任ずる。その他学校菜園、個人の農家、教会菜園、ウマンスツツリ等の野菜栽培の指導。
3. 業務の形態: 現場、試験所型になる。
4. 対象者及びその状況: 技術水準、学歴、年齢: 特別にポイントはない。フルタイムは優秀なアシスタントがいる。経験者と比べ、40~55才 中高年程度。
5. 現地で利用可能な機械: トラクタ、始めに定着しているが、現地で必ずしも使っていない。
6. 職場における外国人及日本人の配置状況: 現職者9人、2-27才1人、オーストラリア人(OAO)1人。他に、今年中、甲国から野菜の専門家の数人との予定とのことである。(おわり) 1人。
7. 使用する現語: サモア語、英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

野菜の品種の比較試験、普及(野菜栽培の)の業務の又入場運営と、将来の技術者育成

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒の女子程度、年齢を保持している人希望し、毎日各農家所を巡回するの必要相応体力が必要である。その健康に自信があり、自己管理ができる人



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年3月6日

10303 果 樹

調査者氏名 神谷 弘一

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Horticulture (Fruit Growing)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物 (温帯果樹)-B	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 55年2月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mountain State Agricultural College (MSAC)  
(日本語): 山 東 1111 立 専 科 大 学

ロ. 隊員勤務先名称: MSAC Pomology Project 日本語名称 (果樹) 7 月 迄 外  
所在地: La Trinidad, Benguet 主要都市からの距離 (バタより 7 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 学校近く 4ha の圃場における苗木生産、栽培管理及び果樹園造成。  
6~8年に亘る果樹園造成計画に基づいて MSAC 所有の山地 20ha を開墾し、温帯果樹園を造成する。この間に 10ha を造成し、道路整備、水塔、貯水池等々を含む施設を建設する。  
ニ. 設備概要: ユーヒー、日本種ミカン、カマンジー等が植栽された。  
グリーンハウス 2棟、学習研究作業ホタケ 2階建家、事務所 (6m x 15m)、ソーラー台。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は 4ha に既に植栽されている日本種柑橘類 (温州、福寿)、ビワ、イチジク、リンゴ、アトウ、ナシ等の栽培管理、研究及び苗木生産に 10ha 及び今年造成の圃場に 30ha におけるユーヒー、カマンジー、ミカン、イチジクの栽培管理、苗木生産を行う。

① 隊員入業務上の地位: Development office 付 技術者

② 技術の範囲、業務の形態: 温帯果樹の苗木生産、栽培管理が中心となる。日本種柑橘類、ビワ、イチジク、リンゴ、ナシ等の栽培技術特に苗木移植の技術が必用となる。この MSAC の将来果樹の苗木供給地となることと自標に果樹の栽培研究を行なう又、必要に応じて一般農家の果樹の普及も予定されている。当面は新造成果樹園の管理 (に注力している)。

③ 対象者及びカウンターパートの技術的水準、学歴及び年齢: 100% 以下 35 才 MSAC 卒 現在果樹学科の助教授に在り、日本、オーストラリアでそれぞれ研修を受けた経験をもつ、人的、技術的に非常に優秀である。なお、使役報酬額は下記のとおり。

④ 現地で利用している機材: 諸農機具、スプレーポンプ、耕耘機、植木鉢、35%

⑤ 現場における外国人: なし 45%

⑥ 使用する言語: 英語、  
南米副学長 (ホタケ) - 果樹園内設計画 (2名) - JOCV (果樹土木)  
学長 副学長 (女) - JOCV (果樹)  
副学長 (女) - worker (約 15 名)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 木村隆一隊員 (5/2 前、果樹) の交替要請。  
バンゲット 1111 における温帯果樹の栽培普及が望まれており、この MSAC がそのパイロットセンターの役割を担っているためこの果樹園造成計画の完成が期待されている。  
この 30ha の圃場利用は今年度 50万 P.S. の予算が確保されている。  
<必要経費等は農業士に渡付してあるものを活用して下す>

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
大学農学科 (果樹専攻) の卒業した人で、実務経験が 1年以上であること。又、これと同等の能力を持つこと。特にミカン、ビワ、イチジク、リンゴの苗木生産に於いて苗木移植を含めて実家の経験があること。  
運転免許書を保有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年5月6日

10303 果 樹

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Fruits Growing	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 果 樹	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Horticulture Development Board (HDB), Ministry of  
(日本語): Agriculture and Forest 農林省 園芸開発局
- ロ. 隊員勤務先名称: Biani Bazar Nursery Station 日本語名称 (ビア=バザール 植育場)  
所在地: シレット 果ビア=バザール部 主要都市からの距離 (シレットより50キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: HDBは1973年の農業普及局と農業開発公社の園芸部門が独立合併して設立された。果樹部門は昨年8月から植育場設置適地の調査を始め、今年4月にビア=バザールが決定され、植育場として今後整備される段階にある。
- ニ. 設備概要: 約2エーカーの土地にオレンジ20本、ジャックフルーツ5本の木がある。他に事務的に車(ピックアップ)1台のみ。車内設備は上述の数量により今後整えられる予定。

(2) 隊員の業務内容

- 1) 業務上の地位: 勤務先の長である Horticulture Development officer の下で 2 週間 7 エーカー
- 2) 技術の範囲: オレンジを中心とした他のレモン、ジャックフルーツ、ジャバ等の熱帯果樹の栽培技術
- 3) 業務の形態: 農民への巡回指導が中心
- 4) 対象普及のかわり: 直接の対象者は全くと教育を受けた農民で果樹栽培の技術はない。かわりには Field Overseer が 57 得るが技術レベルは定かでない。
- 5) 現地下利用が得る材料: 現状ではビア=バザール植育場には何も無い
- 6) 予備門人専門家: 勤務先にはいない
- 7) 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: HDBのExecutive DirectorはJOCVが厳しい条件下でもベトナム語を駆使し農民の中に入り込み各地に支派を定植を繰り返している事から肝銘し更にHDBに果樹技術者の絶対数が不足している必要を述べた。上述のとおり農民への普及活動が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本との教育制度の違いから社会通念により短大卒業以上の学歴(○印)の定務経験(○印)の定務経験は長ければ長一程良い。

(仮)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

103園芸作物 (果樹)

記入昭和 54年 3月 21日

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Citrus Cultivation	(男) 2人	訓練開始 54年 8月 16日
	(日本語) 柑橘類栽培	(女) 1人 (どちらでも可) 1人	派遣予定 55年 2月 4日 受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture  
(日本語): 食糧農業灌漑省, 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Eastern Development Regional Directorate (日本語名称 (東部開発農業支局))  
所在地: ダンクダ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: National Citrus Development Programme (ネパール柑橘類開発計画) はダンクダを中心とする 6地区 (district) で実施される計画であるが、JOCV 隊員の着任後、実際に開始される。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 業務上の地位: 開発計画の中で柑橘類栽培専門技術者となる。
- 技術の範囲: 開発計画指定地区で地元農民 (果樹園経営者) を対象に栽培の基礎技術から、経営まで
- 業務の形態: 全般にわたって指導する。また現場での記録を報告し、将来のデータ作りもする。具体的には、地元農民に、苗床、播種、育苗、施肥、灌水、数ゆる、病虫害防除、摘果、剪定、追肥、つぎ木等一連について、また果樹園経営者にも 地取り、整地、栽植、支柱、耕鋤、除草、施肥、灌水、数ゆる、病虫害防除、整枝、剪定、等について指導する。
- 対象者のカテゴリー: 各地区の Junior Technician or Junior Technical Assistant がつき、対象は J.T., J.T.A 及び地元農民となる。 (技術者として)
- 機材: 特になし
- オ3 国人技術者: なし
- 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパールの丘陵地帯は気候条件からして柑橘類栽培の適地であり、そこで栽培される果樹のうち柑橘類の占める割合がかなり多い。地元農民は換金作物としての柑橘類の市場価値を認め、栽培に着手している。ネパール政府はこのような状況のもとに丘陵地での農業開発として柑橘類に重点を置く方針を打ち出したが、もとより地元農民に技術的専門知識がないため計画通りの収穫には及んでいない。農民に一通りの技術を身につかせようにも、当国に柑橘類栽培を指導できるだけの農業技術者が不足していることが問題である。そこで、日本の先進技術を導入し、本計画を促進した

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): い という農業局の意向で、協力隊員が要請された農学系 (果樹) 卒。実務経験 3 年程度。実際に果樹園で柑橘類栽培をしている (した) 経験の有る者が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

115 土 壤 肥 料

記 入 昭 和 5年 10月 20日

調 査 者 氏 名 小 塩 泰 之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
727=7	(現地公用語) Irrigation Agronomy	(男) 2 人	訓練開始 52年 4 月
	(日本語) 農学教師 (灌漑農業)	(女) 人	派遣予定 52年 8 月
		どちらでも可) 人	受入期限 52年10月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Division, Ministry of Agriculture  
(日本語): 農業者人材開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Ministry of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)  
所在地: Mtwara, Mpwapwa 各1校 主要都市からの距離 (Mtwaraより60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: MATI Mtwaraは1959年開校のCertificate課程のみの学校であり、MATI Mpwapwaは獣医科のDiploma課程の学校に新たにCertificate課程を設置。Certificate課程は2年制であり、農業者及び農家の養成を目的とする。生徒数は両校共に15年800名。

ニ. 設備概要: 両校とも教室、学生寮、職員住宅は完備である。言語備忘年と農学専攻の授業に必要とし、授業に揃っていないものとしてIrrigation使用機材、新規導入の教材として、

(2) 隊員の業務内容

① Certificate課程(日本農業高校程度)の学生にLand Use関連教科書の分量、模範灌漑設計施工法(除く(1)野即ち(2)土壌肥料(3)土壌の水の保存(4)灌漑理論(5)灌漑農業理論-灌漑条件下における輪作体系の補給防除理論等、を指導する。

- ① 教科担当教師として派遣される。
- ② 農学全般の知識を要求する。特に土壌学(土壌分析)植物生理学、他(2)灌漑理論。
- ③ 専任職員は灌漑設計施工隊員とペアで派遣される。2人の隊員が協力してLand Use関連の全教科を指導する。土壌学教室の教科指導は専任職員が担当する。
- ④ 生徒はSecondary School卒業者、年齢20才前後、農業に関する系統の知識は無い。知識は基礎的知識に留め、Certificate課程は学科制ではなく農業全般に中立的な履修制に依り、理論的に深く追求する。実地教育は重要視している。
- ⑤ Irrigation Agronomyは今年5月の教育改革により新たに導入された科目であり、3人からは用意された専任教師が52年3月の授業開始まで準備中であり、教材も不足。
- ⑥ 調査時、MATI Mtwaraには日本人専任農学教師がいない。土壌学は将来外国人の増員が可能。
- ⑦ 英語: 教室の授業は全て英語で行われる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

今年5月の教育改革により、Certificate課程にIrrigation関係の科目を設けることが決定され、52年6月の授業開始に向けて準備を進めている。現地の専任教師の確保が困難なため、協力隊員に期待し、要請している。当初、先方はCertificate課程にも10校程度で隊員派遣を要求していたが、言語等の結果、人数が削減され、Yの成果は行い、新規増員2名に決定された。語学等の結果、今年準備中。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 農学を教室で指導出来る程度に語学(英語)と理論的知識を要求される。
- ① 大学卒業生
- ② 英語の表現力
- ③ 実務経験3年以上
- ④ 現地到着時の年齢、25才以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農業土木

記入昭和54年3月5日

調査者氏名 横倉 貞治

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
(現地公用語)	Agricultural Engineering	(男) 1人	訓練開始 年 月
(日本語)	農業土木—B	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限54年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Mountain State Agricultural College (MSAC)  
(日本語): 山州農業大学

ロ. 隊員勤務先名称: MSAC Pomology Project 日本語名称 (果樹プロジェクト)  
所在地: La Trinidad, Benguet 主要都市からの距離 (キロメートル)

ハ. 事業規模及び内容: 学校直下の4haの土地に於ける苗木生産栽培管理及び果樹園造成。  
6~8年に亘る果樹園造成計画に基づいて MSAC 所有の山地 200ha を用いて、温帯果樹園を造成する。その内に 100ha を造成し、道路整備、ダム、ポンプ貯水池等々を含む施設を建設する。

ニ. 設備概要: コーヒー、日本種真珠カブ等が植栽された。  
グリーンハウス 2棟、実習研究、作業のための隣接家。

(2) 隊員の業務内容: 農業土木隊員は上記の果樹園造成計画に沿って当面 100ha に拡張する果樹園計画の内訳に算入された 30ha の面積に従事する。

① 隊員の業務上の地位: Development office 付技術者

②③ 技術の範囲、業務の形態: 隊員は 30ha 面積の土地の地図作成、道路測量及び造成、かんがい施設、建設を担当する。道路は幅 5m 延長約 3km の林道である。又、30ha の土地のかんがい施設は約 2000 立方メートルの貯水池及びポンプに於ける揚水が主である。川にせき止めて水を貯るため雨期に洪水の危険が伴うので、頭首工利水を引く溜池に導く方式が最も思われる。その頭首工にポンプ機場を設置し揚水する方式も併せ行なう。従って道路測量、施工、ポンプの設計、施工、頭首工の設計、施工 (高さ 2m 程度)、ポンプ設置、貯水池の設計、施工が業務の中心となる。

④ 対象者の追加パートの技術水準、学歴、年齢: この分野の追加パートはいないが、果樹園開発計画のアドバイザーとして時々必要になる。

⑤ 現地で利用できる機材: 測量器具 (平板コンパス、レベル)、製図器具。 35台

⑥ 雇用に於ける外国人等: なし。 46台

⑦ 使用する言語: 英語、  
南達利語 (カリンガ) — 果樹園開発計画 (JICA) — JOCV (農業土木)  
副学長 (女) — JOCV (果樹園)  
副学長 (女) — worker (約 15名)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 横倉貞治隊員 (5ヶ月前、農業土木) の交替要請。  
ベトナムに於ける温帯果樹の栽培普及が望みであり、MSAC がこのパイロットプロジェクトの役割を担っているため、この果樹園造成計画の完成が期待されている。  
この 30ha の分は今年度にて 50% の予算が確保されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
大学農業土木工学部を卒業した人で、実務経験が 1年以上であること。又はこれと同等の能力を持っている人。特に上記の技術の範囲に明記した作業内容に精通していること。  
運転免許を保有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農業土木

記入昭和 53年 8月 14日

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Investigation, Survey and Design	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 調査 測量 設計	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Drainage and Irrigation  
 (日本語): 灌漑排水局

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (灌漑排水局)

所在地: Badruddin Road Kuching Sarawak 主要都市からの距離 (7kmより5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業及び共同社会開発計画、約20程有り、その中の灌漑、排水プロジェクトの開発事業を行うこと

ニ. 設備概要: 業務に必要な設備は一通り備わっている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 地位 - 土木技師 Civil Engineer (日本では土木施工技師か適当か?)

2. 技術的範囲 - ① 地籍測量、現地域における土及び土壌の調査及び試験を行う。  
 ② 灌漑プロジェクト内における農場の設計、水路の配分、末端の設備、水量の調節、ポンプ、小型ダムに關した構造物の設置  
 ③ 排水プロジェクト内における、潮の干満時の河川の用水ダム、及び満潮時の堤、及び排水に關した仕事。

\* 水だけすくってをこす人は、膝はつかないと思わゆる? の内? 1/2が2つ  
 出来る人であれば充分と思わゆる (調査、測量、設計が主な仕事となる)

3. 業務の形態 - 本部計画に基づいて現場に出張し、山、野? 数週間内? を  
 し、調査、測量等を行い、その結果を本部に持ち帰り、計画及び設計を行う。

4. 対象者 - 土木技師、カウンターパート、現地労働者等

5. 機材 - 一通りの測量道具はあるか、小型電算機(測量用)、ハンドブック、  
 便覧 (manual)、灌漑排水プロジェクトの設計を行う製図版一式

6. 単3個人 - 日本人 (河川技師、小森専門家)

7. 使用言語 - ~~英語~~ (現場ではマレー語を使用する事があるので、基礎を自習しておく)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

灌漑排水プロジェクトを推進するに当り、その開発を試みてはいるが、必要なる  
 専門家が、不足しており、海外からの優秀な技術協力の支援が  
 期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒業者が土木技師の資格を持ち、社会実務経験のある者
- ② 灌漑排水に伴う調査、測量、設計が出来た者
- 3. 協調性が富み、異文化理解に努める姿勢が、経営能力のある者

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農業土木

記入 昭和 57年 3月 28日

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 57年 8月 10日
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 55年 2月 4日
	農業土木	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Home Panchayat Ministry  
 (日本語): 自治パンチャヤット省

ロ. 隊員勤務先名称: Panchayat Development Training Center 日本語名称 (パンチャヤット開発訓練校)  
 所在地: Nepalganj ネパール 主要都市からの距離 (ネパールより 3キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 地方農村開発のため設置された訓練教育機関である。  
ネパールに於ける農村指導者の為の短大と称しうる。

ニ. 設備概要: 教室、訓練生寄宿舍、資料室、作業室、圃場、農業、土木用機具

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地区: Lecturer 兼 小規模農業土木の指導監督

2. 技術の範囲: 農村開発のための小規模土木工事、具体的には、a) 測量、b) 小規模灌漑、

3. 業務の形態: c) 村道、暗渠、橋梁工事、d) 飲料水道敷設、e) 吊り橋 等を中心とする。  
業務は現場での指導と教室での講義(ネパール語)。コースは下表のとおり。

訓練コース	内容	訓練期間	定員	学歴	年齢
Sub overseers	上記 a, b, c, d, e	6カ月	80人(男女)	高卒	} 20才以上
Plumbing	飲料水道工事	2カ月	50人	6-7年の基礎教育	
Brick Laying ) Carpentry )	石工 ) 木工 )	2カ月	40人	ナシ	

4. カリキュラム: Engineer 1名, overseer 3名

5. 利用できる機材: 土木関係器具一揃い

6. 外国人: アフリカ平和部隊の栄養士(Health worker)がいるが訓練部門には外国人技術者はいない。

7. 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパールの全体の9割近い国民が農村部に住んでおり、その農村地域開発に従事し、村のパンチャヤットをリードしていく人材(農業土木技術者)を養成する目的でパンチャヤット開発訓練校が存在している。  
同訓練校の校長は、過去に2名の隊員の活動を見ており高い評価をしている。良き理解者である。今回の要請も単に訓練校での農業技術者不足ということだけでなく、協力隊員の業務に対する積極的な姿勢、地道だが着実な現場での実際の指導に期待をかけていることが背景にある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒(農業土木専攻)、実務経験は長い程よい。測量士補。  
給水工事、農村開発に従事した経験者。  
→(僻地への水道敷設工事)



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農 業 土 木

記入昭和 51年 4月 19日

調査者氏名 山本雅生

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
モロッコ	(現地公用語) GENIE RURAL	(男) 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 120 農 業 土 木	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 1977年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministère de l'Agriculture et de la Réforme Agraire*  
(日本語): *農務・農地改革省*

ロ. 隊員勤務先名称: *Services de l'Équipement Rural* 日本語名称 ( )省農務局農村環境整備部  
*Direction provinciale de l'Agriculture*  
所在地: *de: Serrat, Nador, Agadir* 主要都市からの距離 ( )より (キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *セクタ5 (74-11) (7474-11)*

各省内農村環境整備事業は、小規模灌溉計画、上水道、下水道敷設(村落用、曜日市用)計画、畑作地境界画定、山野地道路建設計画などに大別される(主要河川流域は別)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

①地位: *Ingénieur en Génie Rural* (当国では大学6年修了後得られる地位) ②技術範囲: 農業土木全般 各省とも特に注目すべき土木事業計画を持っておりわけはなし ③業務形態: 設計, 施行監理 ④アガディール省以外に現在 *Ingénieur en Génie Rural* は居らず, *Adjoint technique* のみ。

農業土木技師は、水利技師に上位概念であり、作物栽培の知識、土壌・土質学の知識、水利設計技術、構造物に関する知識など、マスト-1である者と工員といる。当国大学では、科学基礎過程2年、理学2年1年のうち、2年の専門教育として *Ingénieur en G. R.* とする。

対象作物は、都市近郊であれば野菜などの換金作物が多いが、場所によっては油脂作物、砂糖用作物などの工業作物があり、穀類、木質果樹も無縁ある。事業計画は、灌漑排水計画を例にとれば、対象作物と土壌・土質の関係から水利計画を立案設計して行くこととあり、この場合の水量予測には、河川からの引水、降雨量予測、地水の利用など、アグロ利用等の設計と関係することとある。計画立案後測量算地取りは、測量隊の担務となり、その結果に基づき設計はすべて責任を持って担当する仕事とある。ただし、構造物を例えれば水路、ダムなどの掘削などおそれ多い上、経済性や伝統手法更には他国技術者の常識など十分議論を及ぼす必要が必ず生ずる。これ、施行上図には、下請業者の監督と *アグロ-ソル・テック* の工事のフォローが業務とある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

各省の農務局は農務・農地改革省の出生機関であり、従って本省に農村環境整備部があり、同省農村整備部が、全国の農村整備事業を担っており、隊員の要請と配備に際しては農務局には同部が行っている。全地方省であり、人員不足の省があれば、要請段階の予定とは異なる配備決定も必要とされる。従って、受入期待は、*Ingénieur en G. R.* の必要度の高い省の省庁に赴任可能な隊員という点にある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業土木専攻の大学卒業者で、農業土木分野で各種の業務を経験した人であること。知識、フランス語、技術能力が高いこと。



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53年 9月 18日

調査者氏名 武藤一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語) Irrigation Engineer <u>3名</u>	(男) <u>5</u> 人	訓練開始 <u>1979</u> 年 <u>3</u> 月
	(日本語) Irrigation Agonomist <u>2名</u>	(女) <u>—</u> 人	派遣予定 <u>1979</u> 年 <u>8</u> 月
	農業土木 <u>5名</u>	(その他) <u>—</u> 人	受入期限 <u>同年8</u> 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Regional Development Director's Office, Mwanza.  
(日本語): タンザニア州政府役所.
- ロ. 隊員勤務先名称: Regional Agricultural Development Officer - Mwanza (日本語名称: タンザニア州役所農業課)  
所在地: タンザニア市街. 主要都市からの距離 タンザニアより1,250キロ
- ハ. 事業規模及び内容:  
添付書類 2ページ参照.
- ニ. 設備概要:  
後便にて連絡.

(2) 隊員の業務内容:

添付書類 3~4ページ参照.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

添付書類 2ページ参照.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

添付書類 4~6ページ参照.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和52年11月24日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械(農具改良)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Volunteer Service (B.V.S.)

(日本語): バングラディシュ ボランティア サービス

ロ. 隊員勤務先名称: Rampur Village Development Project 日本語名称 (ランプール農村開発計画)

所在地: 17カリ崇バゴンガ(ランプール)村 主要都市からの距離 (コミより50キロ)

ハ. 事業規模及び内容: B.V.S.は1971年設立以来、通算約3,000人の国内ボランティアを農村開発等に従事させた。本年度は300万7カ(約5千万円)の予算で現在150人の国内ボランティアを擁する。ランプール計画は1年約6千7カ(約10万円)の予算で実施されている。

ニ. 設備概要: 勤務先には5~6人宿泊可能なスペースを有する事務所があるのみ。現在事務所の倉庫を改築することと計画。

(2) 隊員の業務内容: 現在勤務先には各地の大学から8人および地元から6人のスペシャリストは、半休中の学生が1年間の予定で240家族に17農村開発の一環として農具の改良・普及に当たっている。隊員はB.V.S.メンバーと指導して村内農民への普及の仕方の任に当たる。

(1) 隊員の職務上の地位: B.V.S.メンバーの相談相手

(2) 技術の範囲: 合い、当地農民の標準的農具として、鋤、鍬、均平機、草刈機、除草機、トラクターストック以上は所有する者が少なく、動力使用の農具はほとんど使っていない。畜力利用の農具を改良・改良・製作すること。

(3) 業務の形態: 農村における普及活動。

(4) 対象者・カテゴリー別の技術水準: カテゴリー別にはB.V.S.メンバーが、休学中の大学生が主であり、そのB.V.S.メンバーが半数以上は文盲の農民に指導しているため、技術水準は非常に低い。

(5) 現地で利用可能な材料: 当地に存在する素材と村の鍛冶屋の技術。

(6) 職場に於ける中の人等: 東岸から1回ボランティア(主にランプールの開発会)からB.V.S.に20人程度派遣される計画があるが、何人がランプールに派遣される可能性もある。

(7) 使用する言語: ベンガル語(但し英語も時々必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: B.V.S.はその活動が実際的にも評価されている国内ボランティアの組織で、当地の活動中のJOCVとより技術上のアドバンスを得る。又同じ下江には日本からのボランティアと共同で農村開発を進めたいという期待がある。指導者やスタッフは、高度な技術よりも日本では想像不可能な厳しい条件下の当地農村のボランティアになり得る人間性と若さを強く重視している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記のとおり技術の面では地元の1割と若干のアダプスを要している。(応力用)と合して、農民の心持と理解でき、厳しい生活環境に耐えられる心身と健康があることが必要とされる。

経年年以上で業務経験1年以上が望ましい。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年6月22日

121 農業機械

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) / 人	訓練開始 52年 10月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 53年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限53年2月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management),  
(日本語): Ministry of Agriculture 農業省農業普及管理局
- ロ. 隊員勤務先名称: Gairanaha Agriculture Extension 日本語名称 (ガバナン) 農業普及管理研究所  
所在地: Training Institute (7) 701 主要都市からの距離 (ダカより300キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及促進を養成する政府機関である。現任は1年と2年生合計で7100名の男子生徒がいる。敷地面積は98エーカーで、そのうち耕地面積は58エーカーで主に学習用に利用されている。
- ニ. 設備概要: 事務所、教室、講義室、取付作業の地、トラクター(7台) 26PS、耕耘機(10台)、脱穀機、洋井戸ポンプ(15PS)、マシンのバス等所有している。

**(2) 隊員の業務内容**

- 1) 卒業後は農業改良普及促進に力を入れるべき生徒に対して、農学Ⅰ、農学Ⅱ、作物保護、農業機械、農業普及、園芸の6教科の授業を行っている。そのうちの中隊員は、中央配属先で作成された指導要領を基に、校長の指揮の下に農業機械を担当し、ベンガル語で授業が可能なものは主に学習を担当する。
- 2) 隊員の業務上の地位: 教官
- 3) 技術の範囲: 農業機械の理論と実習および管理と改良について日本の農業高専下指導可能な程度の技術知識
- 4) 業務の形態: 当初は毎朝6時半から9時半進行のわゆる学習の技術指導が主となり、授業が可能なものは午後2時から進行のわゆる授業を担当する
- 5) 対象者およびカテゴリー: 生徒は高校卒業程度の学歴で入所時18歳~22歳の男子で少くもエリート意識を持っている。カテゴリーは大学卒業後40年前後に入学した面が弱い
- 6) 現地で利用する機械: 上記設備概要のとおり
- 7) 取組むべき言語: 勤務先には外人はJOCVの4名
- 8) 使用する言語: 生徒および周辺農民とは全てベンガル語で、校長、教官とは英語が必要

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待**

ガバナン AETI に11 昭和 48 年 10 月 以来 隊員が 継続して 派遣 されて いる。 勤務先、 配属先 での 相互 理解 と 行方 隊員が 必要 不可欠の 存在 として いる。 特に 農業 機械 は 昨 年 11 月 以来 隊員が 受入 された ため、 当日 教官 は 理論 は 20-70% が 実務 の 整備、 指導 が 弱く 実務 経験 からの 必要 事項 として いる。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)**

日本との教育制度が若干異なること、社会通念により22歳以上と卒業し、卒業後(1年以上)の実務経験およびベンガル語の両方の整備と発行を持っていること、必要で農業に親しみを持ち、教官として生徒に教えることに抵抗のない人、望ましい農業一般についてのある程度の知識を持っていること、必ずしも都合。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和53年5月3日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh バングラディシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 5人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Krishi Bank (BKB), Ministry of Finance  
 (日本語): 大蔵省, バングラディシュ農業銀行

ロ. 隊員勤務先名称: BKB Regional Office 日本語名称 (バングラディシュ農業銀行地方事務所)  
 所在地: ナシール, ナシール, ボラ, シェール, シルト 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BKBは独立後、以前の農業開発財政公団と合併して設立された国立銀行。現在12の地方事務所、176の支店を持ち、従業員約4000人を擁する。政府と資金に基づき、家畜果樹、水稲、淡水養殖、灌漑、木竹、計画策定、農民訓練、短期(1年)、中期(1~5年)、長期(5年以上)のローンを貸付している。

ニ. 設備概要: 農機具の設備は外資と日本から輸入された農業機械の附属工具の他は持っていない。

**(2) 隊員の業務内容**

1) 隊員の仕事: 日本から日本政府援助で輸入された cooper, mayor, Krishi, Usha, ヤマハ TS105C, 三菱 NA-85-31A, 7ボク GA90N の灌漑用ポンプ、日立 EVJ 及び日立製ポンプを中心として、農民が使用中の ヤマハ Y28N (ES105C), 7ボク K900-GA-100 の耕耘機、芝浦 S-2000 トラクター、サトウ SB-100 脱穀機、7ボク MPV-3 製粉機、サトウ製粉機、保管・管理指導を行っている。

2) 業務上の地位: 地方事務所の長官の chief manager の下でアシスタント

3) 技術の範囲: 上述の各種農業機械について深くともないう知識と技術

4) 業務の形態: 都品調査が中心で、農民への巡回指導が中心。

5) 対象者に対するアプローチ: 直接の対象者は BKB からローンを基に購入した農業機械を使用している農民で、アプローチは地方事務所からエンジニアかインジニアが、アプローチを受ける。

6) 現地で利用する機械: 日本の基準と比べると全く異なる。

7) 取組に於ける主要な専門知識: 地方事務所にはない。

8) 使用する言語: インド英語と英語も頻りに使用される。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待**

過去9例では、農業機械を購入した農民は最初の年は収穫が満足だが、翌年以降はトラクターが壊れて BKB への修理依頼で苦情が多くなり、農民に対する正しい使用法、保管・管理の指導が期待されている。特に今年から輸入された日本製農業機械への期待が大きい。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)**

日本との教育制度の違いおよび社会通念により短大卒業程度以上の学歴(専攻) (専攻) の業務経験。  
 業務経験は長ければ長一程。又輸送、貯蔵の知識・技術があれば好都合。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和53年 5 月 25 日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation, Ministry  
(日本語): of Agriculture 農業省 農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Dattanagar Seed Multiplication Farm 日本語名称 (ダッタガル種子増殖農場)  
所在地: 27-11 米ダッタガル部 主要都市からの距離 (シタハリ 72 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BADC は農民に対し米・小麦の優良品種を供給するのみならず、  
21 の種子増殖農場を所有しているが、ダッタガルは約 300 エーカーの農場を有し、  
主に水稲の種子増殖生産を行っている。乾期には約 100 エーカーで小麦も栽培している。

ニ. 設備概要: 種子増殖農場中最大の設備を有し、トラクター約 25 台、深井戸ポンプ 24 基、  
リフトポンプ 15 台、コンバイン 2 台、スプレッパ 7 台、レドドリル 5 台、ビードロ 7 台、  
トラクタ 2 台等がある。

(2) 隊員の業務内容: 農場の最高責任者アディショナルマネージャーの下で農業機械の専門家  
として、機械類の維持補修に従事するとともに農場スタッフ (約 10 名) の技術指導  
を行っている併せて 7-7 ヴォード (カニ 7.5 名) の整備拡充に協力する。

① 業務上の地位: 機械の専門家としての立場であり、5 つあるサブチームの農場長に  
助言等をおこなうこととなる。

② 技術の範囲: トラクター、ポンプ、一般車輛も含め農場に所有する全ての機  
械の点検整備からオーバーホールに及ぶことが必要とされ、又入手不可の部品等  
は手持の材料と限られた設備で製作出来るものは行なう。

③ 業務の形態: 7-7 ヴォードとチームとして実務の作業を通じてスタッフ、カニの技術  
指導し、機械類の維持補修計画を作成・実行させる。

④ 対象者及びカニのレベル: 技術水準は一般的に低く、知識も断片的であ  
る。カニのレベルの平均は 30 年前後。

⑤ 現地で利用可能な材料: アーク溶接材、ガス溶接溶断材、12mm 木口管、1/2 寸  
ドリル、7/16 寸ナット、エンジンラジエター、エアフィルター、2 1/2 寸ボルト、  
ナット、トラスター、トルクレンチ、洗車機、一般手工具セット等。

⑥ 農場に於けるスタッフの人数: 水管理の協力隊員 1 名はなし

⑦ 使用言語: ベンガル語および英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ダッタガルは 21 の種子増殖中最大の規模を持つ農  
場で機械・設備も多量にあり、その維持補修に必要な適切な人材が不足してい  
るため、農場のスムーズな運営に支障があるため隊員の協力が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の違う日本の社会  
制度により短大卒以上の学歴で卒業後 (1 年以上) の実務経験 2 年以上の級が  
必要。機械整備士、アーク溶接技術士、大型自動車運転免許もしくは同等以  
上の実力を持つ人が望ましい。

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

ハ 駐米50-115号 様付

(調) 9

121 農業機械

記入昭和 5/年 1 月 23 日

調査者氏名 伊藤健定 在 バングラデシ 駐在員

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣
バングラデシ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 1 人	訓練開始 50年 10月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 51年 4月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Integrated Rural Development Programme (IRDP) Ministry of Local

(日本語): Government, Rural Development & Co-operative, 総合農村開発計画局

ロ. 隊員勤務先名称: Project Director's office 日本語名称 ( 県庁農業計画局 )

所在地: 7 県の県庁所在地におおむね 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: IRDPは農村地域における農業協同組合の組織化を主として、農業生産の増大、農民階級向上、並に地域の総合的開発を推進し、各 District (県) に Project Director's office と持ち、農協の組織化、灌漑計画、農薬・肥料・資機材の輸送、生産物の販売、農民の

ニ. 設備概要: 技術的・経営的指導、農業金融、農村開発計画の調整等も並に業務としている。全国 413 Thana (郡) の中 150 Thana において IRDP の組織化を終り、IRDP の傘下にある。

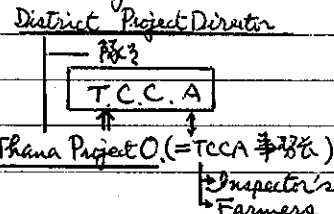
(2) 隊員の業務内容:

(1) 隊員の業務上の地位: 隊員は District の総合農村開発計画を統括する IRDP Project Director's Office に所属し、Project Director の指揮の下、農業機械の操作及び維持補修技術について、Thana Central Co-operative Association (TCCA) に対し指導を行う。

2) 技術の範囲 } IRDP は傘下各 Thana に農業機械の整備工場兼機械技師訓練場の一  
3) 業務の形態 } の設置を計画し、計画者との計画案を審議中である。従って隊員は着任後  
まず、同施設の規模、内部設備等の企画立案からはじめ、取組めるところを隊員自身で行う  
こととする。技術訓練場では農業機械の操作、維持補修について技術指導を行う。

同整備工場兼訓練場は TCCA におき、隊員はこゝの運営についても支援する。  
TCCA (郡農協連合会) では農協のリーダー (指導員) 及び エキスパートを集めて毎週・定期  
技術講習会を開き、隊員はこゝで技術指導を行うこととし、TCCA 所属の指導員 (Inspector)  
や技術職員を指導し、各々単位農協 (Village Co-operative Society) の中心指導を行う。

4) 指導対象と隊員の関係は右のとおり



5) 使用可能機械: 浮舟、揚水ポンプ、噴霧器等  
修理工具施設は現在ほとんどない。

6) 現在 IRDP はこの分野の外国人技師は入っていない。

7) ベンガル語使用を原則とする

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

総合農村開発計画は農民の自発的組織化を基盤として、農民の側から生産構造の近代化を行  
うことと、政府の支援 (財政的・物的・技術的) 的援助を行おうとする計画である。従って単  
生産の増加のみならず、社会変革をめざす基本的な目標である。従来の農業委員会、農業開発公  
に隊員が派遣される場合には、農民大衆との接触が中心となり、隊員実践的指導を期待するものは大きい

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1) 短大卒業程度
- 2) 整備士資格の取得が所要
- 3) 実務経験: 5年以上、技術内容は高度であることと要するに Workshop の設計立案等を行い、同国語  
農協の実践的指導が主たる任務であるため、組織や事業体の動向について、かなりの認識を保持していることが必要  
不可欠であり、実務経験は欠かせない。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 52 年 5 月 11 日

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 52 年 10 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 53 年 2 月
	農業機械	(どちらでも可) 人	受入期限 53 年 3 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *Integrated Rural Development Programme (IRDP), Ministry of*  
(日本語): *Land Administration, Local Government, Rural Development + Cooperatives*
- ロ. 隊員勤務先名称: *Head office IRDP* 日本語名称 (総合農村開発計画本部)  
所在地: *ঢাকা* 主要都市からの距離 ( ঢাকাより市内キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: IRDPは農村の社会的、経済的基盤の強化育成のために農民成人教育、農協運営指導、協同金融、共同施設利用(灌漑施設、農業機械、加工工場)、共同購入(肥料、農薬、農具)などの諸活動と郡農協連、郡協単協を通じて推進している。
- ニ. 設備概要: 勤務先では本部事務局等の一般的事務施設のみ

**(2) 隊員の業務内容**

- 現在全17の数の所計画中の農具の製作・修理を目的とする農業機械新工場設立に關する技術面でのアドバイスを主な業務とし、既設工場での技術指導、精米所、精油所の保守・管理および下請工場の技術指導、生産管理等を行う。
- 1) 隊員の業務上の地位: 新工場設立のための Special Project の3人のスタッフの中の1人
  - 2) 技術の範囲: 農業機械新工場設立のための準備調査から設立後の運営に至る迄の上述業務遂行のための中広の知識と技術
  - 3) 業務の形態: 在 ঢাকা IRDP本部での仕事と上述業務遂行のための月に2-3度の地方出張が主となる。
  - 4) 対象者及びカウンターパート: Special Project の Deputy Director 又は Assistant Director がカウンターパートとなり本部職員は全んどが大学以上卒業。
  - 5) 現地で利用する材料: 全んど自
  - 6) 取組に於ける者数17人等: IRDP本部に若手年活初の協力隊員 2=セ7地。
  - 7) 使用する言語: IRDP本部では約半分は会話、書報とし要語で地方では全んどがベンガル語。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

新工場設立計画遂行中に現任派遣中の隊員の任期が満了するもの。スベリストと17の協力隊員の継続派遣を望んでいる。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

IRDP本部の環境条件により大学卒業以上の学歴が必要で、かなり高度の中広の技術と要求されるので、経験は豊富で程よく最低3年は必要。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 51 年 4 月 22 日  
調査者氏名 東原裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア 共和国	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 1 人	訓練開始 昭和 51 年 10 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 昭和 52 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Agrarian Reform  
(日本語): 農業農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Engineering Division of State 日本語名称 (国営酪農場技術部)  
所在地: Dairy Station - Hama - 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1976年~1980年の5ヶ年計画により、国内の適地50ヶ所に  
国営酪農場を開設する。各酪農場には平均1000頭のホルスタイン、フ  
ーシエンを飼育し、牛乳、バター、チーズの生産を目的とする。建設中200頭外。

ニ. 設備概要: 現在は第一段階として、トラクター、35キワ、シルトス、プレホ、ビルド-ス、11マの  
近郊に農場を開設中。畜産用諸機械はこれから導入する。工具は若干あり。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 農業機械技師。

② 技術の範囲:

搾乳機を主とする教育・農業用機械の保守管理。

③ 業務の形態:

隊員は Hama の乳牛総管理局に勤務し、各地の牧場の機  
械が故障した場合、出張し修理する。また各牧場において現  
地人取原に農業機械修理の実習を指導し、農業機械の普及  
に当たる。

④ 対象者及び対象の技術水準: 学歴及び年齢: 不明 (不定)

⑤ 現地で利用できる機械: 各農場から一部の工具若干。

⑥ 取組むべき国際人及び日本専門家の配置状況:

シリア政府はヨーロッパ諸国に対してと同様に畜産機械技師の  
派遣を要請している。本5ヶ年計画のマスタープラン作成には日本  
の折田孝門 (獣医師) がアドバイザーとして加わっている。

⑦ 使用する言語:

アラビア語、英語、(仏語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国内(特に北部)には牧場適地が少なく、シリア政府はこの5ヶ年計画  
に大きく期待している。搾乳機等機械の多くはヨーロッパから輸入  
するものであり、現地にはそれを保守管理できる技師は少ない。  
日本からの農業機械技師の派遣を強く望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 大卒 年齢: 不問 取得資格: 不問  
実務経験: 2年以内

苗字の長い機械説明書と読みの理解力・応用力。



日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 51年 10月 20日

調査者氏名 小嶋 泰之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
7-27-2P	(現地公用語) Agro-Mechanization	(男) 1 人	訓練開始 52年 4 月
	(日本語) 農業機械教師	(女) 人	派遣予定 52年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 52年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Div. Min. of Agriculture  
(日本語): 農業者人材開発局

2. 隊員勤務先名称: Min. of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)  
所在地: Mlingano (Tanga) 主要都市からの距離 22kmより40キロ

3. 事業規模及び内容: Agro-Mechanization, Farm Management 2学科を有する Diploma 課程 (2年制 農業者人材) の学校。専門普及員養成機関である。本年6月開校。生徒数両学科共1学年当り40名。教師数15名。

4. 設備概要: 教室、職員室、Workshop等、建物は完備しているが教材、図書、Workshop設備は除々に供給しているが不完全。

(2) 隊員の業務内容: Agro-Mechanization 学科の主任教科である Farm Power, Farm Machinery, Workshop Technology 各教科を担当して教える。農業機械化、電化に関する全ての分野にわたりその理論と応用を教えるが、実地教育に重点を置いていく。別紙 シラバス参照

- ① 教科担当教師として派遣される。
- ② 現場の普及活動に即対応出来る人材の養成に主眼を置いていく。Diploma課程と違い専門にかよった内容は純粋的。自動車の構造及び整備技術に関する項目です。教師が不足していることから担当教科以外については、製図、測量、数学などの教科の指導を依頼する可能性は大きい。
- ③ 担当教科指導(実習も含む)を単独で行う。
- ④ カウリー・パートは期待出来ない。教科担当は全て入学年で占められいる。生徒は小学校7年、Secondary School 4年、農業の Certificate 課程2年を修了した者、Sec. School 6年の修了者又は、Sec. School、農業の Certificate 課程修了後、国家機関や国営農場に勤務し、職場の推薦により入学した者等区々である。年齢20-25才。
- ⑤ 近い将来、充足の必要は確実ですが調査時点では、トラクター程度。
- ⑥ 1人専門家 (Agro-Mechanization 学科主任) 1名のみ。将来増える見込み。
- ⑦ 英語。教室での授業は全て英語です。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業者は各ウツマニ村、国営農場に専任の普及員を配置する意欲的な教育計画を策定し、目下実施の段階に入っており、Diploma課程はこの目的に資する高等専門普及員養成を目的とされている。協力隊に対しては、このため教育訓練分野での申請をしております。これは過去の農業隊員の実績を背景としての上での協力申請であり、これに必要なのは協力は動員を行う必要が意識を付けたものと確信します。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒業生 (農業機械を専攻した者)
  - ② 英語
  - ③ 実習経験 (数年) あり
  - ④ 現地に到着時の年齢 25才以上
- 農業機械を教える講義の程度、語学力(英語)と農業機械に関する広い範囲の理論的知識が要求される。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年12月26日

調査者氏名 鮎川 達

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
11077PJ	(現地公用語) Maquinarias Agricolas	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia  
(日本語): 農林省.

2. 隊員勤務先名称: アスンシオン大学、又はカロコニタの農業試験場 ( )  
所在地: (グレノッソ) カロコニタ 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: アスンシオン大学の場合、大学内におき農業機械施設にて内にとになる。  
設備は、トラクター3台、アプレキ-収穫機、苗植機(各1台)整備用具は85%ほど揃っている。

4. 設備概要: 業務は大学教授のアシスタント、生徒にトラクターの教育等、  
機械修理工場の施設整備、機械配置の助言

(2) 隊員の業務内容: 持参した機材、穿孔機、内外径測定器、マニュアル、

(B) カロコニタの農業試験場の場合

農業試験場の農機の修理を行ったりが主な業務となる。  
現在同試験場において農機の修理を行っている。修理工場  
に働いている人等と一緒に仕事することになる。  
修理道具は揃っている。また、溶接と旋盤が完備している。

言葉: スパニッシュ

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ハイチにおいてはお米の生産が主のため農業機械をどうして使用しな  
ければならぬ、しかしながら農業機械修理技術者が不足しているのが現状で  
ある。したがって農業機械修理、操作を指導出来る技術者を求めている

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学に勤務する場合、大学卒業生で大型農業機械の修理技術を持つ人  
で操作出来る人。試験場も同様

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年 12月 26日

調査者氏名 紙川 達

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラ	(現地公用語) Fitopatologia	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 植物病理学	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Universidad Nacional de Asunción

(日本語): アスンシオン大学

ロ. 隊員勤務先名称: Facultad de Ingeniera Agronomica (日本語名称 (農学部))

所在地: San Lorenzo

主要都市からの距離 (km) より 11 km

ハ. 事業規模及び内容: アスンシオン大学農学部, 植物病理研究室は, アスンシオン大学農学部学生を対象として教育, 実習を行っている. 又, 農業者に協力してバングラディッシュ農民に植物病理に関する知識を普及するため, 資料を提供している.

ニ. 設備概要: 植物病理試験を行うための必要な機材は 85% 所有している.

(2) 隊員の業務内容:

業務: 植物の病徴と与えるバングラディッシュの分類

学生を対象と授業及び実習を行う時の手伝い.

地位: 研究室員 (同研究室には博士取得者が3人あり)

彼等と協力して作業を行う.

携行する機材: 顕微鏡 (位相) 対照顕微鏡

60 mesh and 600 mesh の 線虫篩

言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業立国であるバングラディッシュにおいて植物病理に対する研究は重要であり, 農民指導を行う際の基本的データを作成することが必要とされている.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒業者と研究にたずさわった人.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

131 家畜飼育

記入昭和 53 年 10 月 2 日

調査者氏名 神谷 弘 司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (A.I.)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育(家畜人工授精)-B.A	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry (BAI)

(日本語): 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称 BAI Regional Office (X), BAI Regional Office (Y) 日本語名称 (畜産局リジョナルオフィス, Y)

所在地: Cagayan de Oro, Legazpi 主要都市からの距離 (マニラより) キロ

ハ. 事業規模及び内容:

家畜人工授精促進プログラムを推進し、現地の人工授精師がプログラム遂行の任務に当たっているが技術不足、精液保存、凍結手段の問題で計画は思う通りに進

二. 設備概要: 凍結精液輸送管、カテー、人工授精器具。冷凍に際して凍結精液、液体窒素等はマニラの NABC (National Artificial Breeding Center) が配達する。

(2) 隊員の業務内容: 本申請の件 リジョナル (カガヤン) には 1 名、リジョナルには残りの 2 名が配属される予定である。

- ① 隊員の業務上の地位: 畜産局付 家畜人工授精師。
- ② 技術の範囲: カウバブ、ミューン種、セブ島牛に対する人工授精、伝染病鑑定、疾病に対する治療、伝染病予防等。
- ③ 業務の形態: 現地家畜人工授精師と共にリジョナル内の 3~4 の地区を巡回し、家畜人工授精の普及活動を実施する。又、州内の A.I. プログラムは年々家畜人工授精の研修会を開く。送る授精に使用する精液は凍結精液としてマニラの NABC が送る。しかし、送る精液が凍結したままポンプ方式で使用し、その活力は低い。しかし、近い将来、本国もストロー方式に移行する事でより活力の高い精液が送られる見込み。
- ④ 対象者、カウバブ等: リジョナルには 35 才で日本で 9 年研修を終った人物。リジョナルには未定であるが、14 才で 12 年現地の家畜人工授精師。
- ⑤ 現地の利用可能な機材: 人工授精器具、凍結精液輸送管等。
- ⑥ 母国の人等: リジョナルには 2 名、カガヤンには 1 名。リジョナルには 1 名。
- ⑦ 使用する言葉: 英語、ヒツヤ、ビコラー

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新制度導入。  
家畜人工授精 100%。普及に努め、日本の人工授精技術者による上、国内での家畜人工授精師 BAI 人工授精師の質的向上が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
農業高校卒業以上で (家畜人工授精師) の資格を保有しており、(経験が最低年) 以上必要である。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 3 月 31 日

131 家畜飼育

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 英領(国)	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	家畜飼育(豚かひ) - A (どちらでも可)	受入期限 55年2月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agrarian Reform (MAR)  
 (日本語): 農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Pilot Special Settlement Project 日本語名称 ( )  
 所在地: Narra, PALAWAN 主要都市からの距離 25kmより92キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1972年に私設した農地改革をふくむ女子技術で国有原生林を払い下す地に土地を農民に移住せしめ、土地を原備で分け与え、農業への道を開かせよう。土地は総面積 25,000ha、入植戸数 3,000戸、うち数戸数を入植を奨励するものとしたい。

ニ. 設備概要: 入植後は漸次移住せしめる方向にある。現地事務所職員約 40名である。入植地内整備に必要な大型建設機械、農業機械は不足が甚だしく設備はない。

(2) 隊員の業務内容: 当初は入植農家を対象とした家畜診療サービスを中心任務であったが、入植者達が持っている家畜(特に豚)の質が悪いため、この地は全体の40%程度、与代の隊員時代に豚の優良品種を導入する計画が立てられ、MAR-PNAC-TRCに小規模な豚舎が建設され豚の肥育が開始された。昨年の秋に豚舎の拡張計画がMARにて決定され、この2月に5万ペソ(140万円)の予算があり、現在の豚舎の拡張工事が行われている。

- ① 隊員の業務上の地位: MARより任命された指導員。
- ②③ 技術の範囲、業務の形態: 現在豚舎建設と同時に少数の豚を導入し、この優良豚に人工授精を通じてこの地の品種改良を図る。農作物には入植農家へ、精製を週に2回ペースに MAR-PNAC-TRC の優良豚を管付け、そこで生まれた豚を回りの農家に安く売り、この地は全体に拡大して豚の品種改良を図る。隊員は上記豚舎の運営管理、人工授精サービス、防疫注射サービス及び精製と豚の管理運営が任務の中心となる。計画的にこの地へ家畜診療サービスも実施しなくてはならない。
- ④ 対象者は何か? -ポート等: 対象者は入植農家。カリエーポートはなし。
- ⑤ 現地を「利用」できる材料: 必要があれば借り出す。
- ⑥ 外国産: ない。 ⑦ 使用する言葉: 英語、タガログ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鈴木茂樹隊員(2/2前 家畜飼育)の交替要請。1972年4月この地はに対する優良品種の拡大が期待され、入植者の収入源の一つになり得る希望をもちている。  
 最近では MAR よりも早く BAI (畜産局) がこのプロジェクトに関心をもち始め、これら共同プロジェクトになることを望んでいる。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- 1. できれば大学生が望ましい。
  - 2. 家畜飼育に1年以上の経験が1~2年以内。獣医であれば可。
  - 3. 資格は無くとも豚の人工授精ができること。
  - 4. 単身入国と入国許可証を保有していること。